令和７年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2025

令和７年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2025

# 目　次


■展示事業
1　特別企画展 4
2　コレクション展 7
■交流事業
1　招聘事業 10
2　地域交流事業 17
3　展示 18
4　特別展示 19
■教育普及事業 20
■ミュージアム施策事業 22
■ボランティア事業 23
■広報活動 26
■所蔵作品
1　新所蔵作品 30
2　貸出一覧 33
3　修復一覧 36
■図書資料 37
■観覧者数 38
■活動記録 42
■名簿 44

# 展示事業

## おいでよ！夏の美術館vol.2
## オバケ？展




会　　期　2025年7月10日(木)～8月31日(日)　(9:30～17:30、会期中は無休)
会　　場　福岡アジア美術館 企画ギャラリー
主　　催　福岡アジア美術館、西日本新聞社、テレビ西日本、西日本新聞イベントサービス
協　　賛　NTT西日本
企画協力　ブルーシープ
後　　援　福岡県教育委員会、福岡市教育委員会
開催日数　53日間
観覧者数　41,157人

親も子も楽しめる夏のイベントシリーズ「おいでよ！夏の美術館」の第2弾。今回は、人々の好奇心をくすぐる摩訶不思議な存在である「オバケ」をテーマに開催。「みる・かんじる・しる・なる」をキーワードに、クリエーター22組とともに絵本、漫画、落語、アニメーション、音楽、写真など、さまざまな形で体験できる「オバケ」の世界を展開した。会場内には、「オバケ」を感じさせる当館の所蔵作品も組み込んだ。

ポスター　B2　[制作]ブルーシープ
チラシ　A3　[制作]ブルーシープ

関連事業　◇ワークショップ
「おがくずねんどでオバケをつくろう！もくねんさん工作&糖度実験」
講師：エフコープ生協
日時：7月31日(木)～8月1日(金)10:00～17:00
会場：アートカフェ

◇ワークショップ
「オバケハウスをつくろう」
日時：8月16日(土)①11:00～12:00②14:00～15:00
会場：アートカフェ

◇コンサート
「なかよしオバケコンサート」
出演：岩石功(ハーモニカ)ほか
日時：8月11日(月・祝)11:00 ～12:00
会場：アートカフェ

◇読み聞かせ
「テレビ西日本アナウンサーによる読み聞かせ」
読み手：テレビ西日本アナウンサー
日時：会期中毎週水曜日13:00～13:30
会場：キッズコーナー

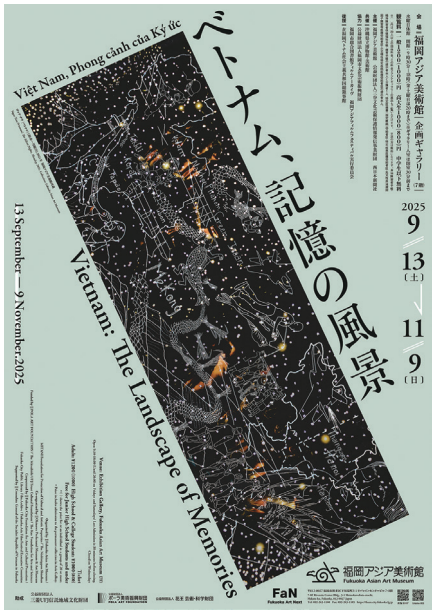
◇読み聞かせ
「アジアのオバケ？にまつわる絵本と紙芝居の読み聞かせ」
読み手：福岡アジア美術館ボランティア
日時：会期中毎週火曜日と日曜日11:30～12:00/13:00～13:30
会場：キッズコーナー





オバケ展　主な関連記事
2025. 6.15　北九州市政だより
2025. 7. 1　福岡市政だより
2024. 6.24　ART AGENDA
2025. 6.25　西日本新聞夕刊
2025. 8. 1　福岡市政だより
2025. 8. 7　西日本新聞朝刊
2025. 8. 8　西日本新聞朝刊
2025. 8.19　西日本新聞朝刊
2025. 8.22　art scape

## ベトナム、記憶の風景




会　　期　2025年9月13日(土)～11月9日(日)
会　　場　福岡アジア美術館 企画ギャラリー
主　　催　福岡アジア美術館、公益財団法人三谷文化芸術保護情報発信事業財団、西日本新聞社
共　　催　沖縄県立博物館・美術館
助　　成　公益財団法人ポーラ美術振興財団、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、公益財団法人花王芸術・科学財団
協　　力　公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、福岡市総合図書館フィルムアーカイブ、福岡アジアフィルムフェスティバル実行委員会
後　　援　在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館
企　　画　棗原ふみ
会場デザイン　ヒリュー装美
開催日数　50日間
観覧者数　6,262人

ベトナム戦争終結50周年を記念し、欧米列強による植民地支配と独立のための闘い、難民の発生やグローバル化など、近代以降の世界の課題を絶えず経験してきたベトナム激動の100年を、ベトナムの美術作品約110点から辿った。本展では、従来世界中に流通してきた「他者」によるベトナム表象ではなく、ベトナムのアーティストによってベトナムを巡って生み出されてきた記憶やイメージの集積を「記憶の風景(メモリースケープ)」として見つめなおすことを軸に構成した。また、特設コーナーとして三谷文化芸術保護情報発信事業財団によるグエン・ファン・チャン絵画保存修復プロジェクトを紹介した。関連催事として日本国内やベトナムから出品作家や研究者を招聘したトークイベントや上映会のほか、福岡在住のベトナムをはじめ多様なルーツを持つコミュニティとの交流イベントなども開催。日越関係が年々深まるなか、本展は文化を通して日越の相互理解に資するひとつの機会となった。

ポスター　B2　石井克昌(ホンとカラすグラフ)[デザイン]／株式会社　昭和堂[印刷]
チ ラ シ　A4　石井克昌(ホンとカラすグラフ)[デザイン]／株式会社　昭和堂[印刷]
図　　録　B5縦変形(H257×W190mm)112頁、石井克昌(ホンとカラすグラフ)[デザイン]／株式会社　昭和堂[印刷]

関連事業　◇開会式・プレスツアー
日時:9月12日(金)15:00～17:00
会場:企画ギャラリー

◇開幕記念イベント
第62回福岡市民芸術祭オープニングライブ＆ギャラリーツアー
ライブ出演:バオ・チャム
日時:9月13日(土)14:00～15:00　バオ・チャムライブ
15:00～15:30　ギャラリーツアー
会場:アートカフェ、企画ギャラリー

◇福岡国際市民協会共催イベント
国際中秋節INあじび
共催:福岡国際市民協会(FIRA)
日時:10月4日(土)11:00～20:00、10月5日(日)11:00～18:00
会場:アートカフェ

◇アーティストトーク＆上映会
第１部　映画『十月になれば』上映会＆タオ・グエン・ファン アーティストトーク
出演:タオ・グエン・ファン
日時:10月19日(日)10:30 ～12:00　映画上映
13:00 ～14:30　アーティストトーク
第２部　ゴック・ナウ アーティストトーク＆上映会
出演:ゴック・ナウ
日時:10月19日(日)15:00 ～16:30　アーティストトーク＆上映
会場:あじびホール

◇ギャラリーツアー
学芸員によるギャラリーツアー
日時:10月18日(土)、11月3日(月・祝)各日13:00～13:45
会場:企画ギャラリー

◇明治産業presents
パム｜PARTY AT THE MUSEUM vol.03
主催:福岡アジア美術館、株式会社明治産業
企画:三声舎

日時：11月1日（土）～11月3日（月・祝）各日11：00～18：00
①ゲストによるスペシャルトーク「ベトナム美術入門」
出演：二村淳子
日時：11月1日（土）14：00 ～15：30
会場：アートカフェ
②ゲストによるスペシャルトーク「てけしゅん音楽情報 遠征トーク：V-POPとは何か？」
出演：てけしゅん（照沼健太・伏見瞬）
日時：11月2日（日）14：30 ～16：00
会場：アートカフェ
③日替わりで色んな鑑賞ツアー［ゲストツアー］二村淳子さんと鑑賞ツアー
出演：二村淳子
日時：11月1日（土）15：30 ～16：15
会場：企画ギャラリー
④日替わりで色んな鑑賞ツアー［ベトナム特別ツアー］ベトナムの皆さんとめぐる鑑賞ツアー
出演：福岡在住のベトナムの方々
日時：11月2日（日）11：30 ～12：30
会場：企画ギャラリー
⑤ステージパフォーマンス　ガムランチームGo On
出演：ガムランチームGo On
日時：11月1日（土）12：00 ～13：15
会場：アートカフェ
⑥ステージパフォーマンス　ベトナムの皆さんによるパフォーマンス
出演：福岡在住のベトナムの方々
日時：11月2日（日）13：00 ～13：45、11月3日（月・祝）12：00 ～12：45
会場：アートカフェ
⑦子ども向けワークショップ
日時：11月1日（土）～11月3日（月・祝）各日11：00～18：00
会場：アートカフェ
⑧DJパーティタイム
出演：ソムタムワナカーン＆GUESTS
日時：11月1日（土）～11月3日（月・祝）各日16：00～18：00
会場：アートカフェ
⑨フード＆ドリンク販売
出店店舗：PHO STAND（11月1日（土））、万歳食堂（11月2日（日））、カーネル食堂（11月3日（月・祝））、MUSEUM CAFE by IENA COFFEE（11月1日（土）～11月3日（月・祝））
日時：11月1日（土）～11月3日（月・祝）各日11：00～18：00
会場：アートカフェ

連携企画　◇福岡アジアフィルムフェスティバル
ベトナム映画特集上映
主催：福岡アジアフィルムフェスティバル実行委員会
期間：10月9日（木）～10月13日（月・祝）
会場：あじびホール

◇福岡市総合図書館
アジアの女性映画監督再考　第7期：ベトナム
主催：福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会
期間：10月24日（金）～10月30日（木）
会場：福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

ベトナム、記憶の風景　主な関連記事
2025. 8. 3　ART AGENDA
2025. 8. 8　art scape
2025. 8.28　美術展ナビ
2025. 9. 1　福岡市政だより
2025. 9. 5　西日本新聞朝刊
2025. 9. 5　西日本新聞me
2025. 9. 9　西日本新聞夕刊
2025. 9. 9　Vietnam.vn
2025. 9.13　沖縄タイムス
2025. 9.13　アートアジェンダ
2025. 9.13　静岡新聞DIGITAL
2025. 9.13　北國新聞
2025. 9.13　日本海新聞
2025. 9.13　新潟日報デジタルプラス
2025. 9.13　南日本新聞　デジタル
2025. 9.13　よんななニュース
2025. 9.13　北海道新聞デジタル
2025. 9.13　livedoor News
2025. 9.14　西日本新聞夕刊
2025. 9.14　47NEWS
2025. 9.15　NetIB-NEWS
2025. 9.15　福岡市政だより
2025. 9.17　よかなび
2025. 9.18　Fukuoka Now
2025. 9.18　アルトネ
2025. 9.18　フィールドネット
2025. 9.18　西日本新聞me
2025. 9.20　VIETJOベトナムニュース
2025.10.29　Art it
2025.10.31　西日本新聞me
2025.11. 1　朝日新聞朝刊
2025.11.18　d menu
2025.12.25　アルトネ

関連放送
2025.10.23　VTV「VTVGo」
2025.10.27　NHKロクイチ
2025.10.12　LOVE FM「明治産業presents Our Culture, Our View」






## 展示事業　　2　コレクション展

アジアギャラリーでは、コレクション企画として「アジアコレクション この手が未来を編み直す」「ベストコレクションⅢ 変革の時代、新たなる自画像」展を開催した。

### アジアコレクション
### この手が未来を編み直す




会　　期　2025年4月24日(木)～6月22日(日)
　　※水曜日は休館。
会　　場　福岡アジア美術館 アジアギャラリー(7階)
主　　催　福岡アジア美術館
企　　画　五十嵐理奈
会場デザイン　ツカサ創研
開催日数　52日間
観覧者数　13,704人

春のコレクション展は、アジアの暮らしや文化のルーツを作品に取り込むことで、斬新な現代美術の表現を生んだアーティストたちの作品約50点を紹介した。布、糸、刺繍、籐細工、切り紙などの素材の面白さと巧みな手わざ、さらに洗練されたデザイン感覚や造形力が大きな見どころとなった。

展覧会は、コーナーを4つに分け、アジアの暮らしのなかの華やかな祝いや祭りからはじまり、つぎに、祝祭を彩ってきたさまざまな手わざを経て、きらめく光と影の空間、そして瞑想の森へと進む構成。アジアのアーティストたちの手は、どのように自分たちの暮らしの手わざをひもとき、未来を編み直してきたかを作品をとおして学び、その実践のなかに、混迷を深める世界のなかで、未来を生きるためのヒントを探る展覧会。

アジアの近現代美術に影響を与えた民俗芸術などを収集し、既存の枠にとらわれない新たな美術の価値を探し続けている当館だからこそ企画できる、個性際立つコレクション展となった。

ポスター　B2　［デザイン］9P　吉田朋史
チ ラ シ　A4　［デザイン］9P　吉田朋史

アジアコレクション関連記事

2025. 5. 1　福岡市政だより
2025. 5.12　博多経済新聞
2025. 5.14　Fukuoka Now
2025. 5.19　西日本新聞me
2025. 6. 1　月刊　はかた6
2025. 6. 4　Tokyo Art Beat
2025. 6. 5　西日本新聞me
2025. 6. 6　しんぶん　赤旗
2025. 7.13　日本経済新聞





## 福岡アジア美術館
## ベストコレクションⅢ
## 変革の時代、新たなる自画像




会　　期　2025年7月5日(土)～11月30日(日)
　　※水曜日は休館。ただし、7月10日(木)～8月31日(日)の期間は無休
会　　場　福岡アジア美術館　アジアギャラリー(7階)
主　　催　福岡アジア美術館
企　　画　佐々木玄太郎
会場デザイン　ヒリュー装美
開催日数　135日間
観覧者数　30,581人

所蔵作品の中から、アジア美術のスターアーティストの傑作を厳選して紹介する「ベストコレクション」展の第3弾。本展では、アジア美術の変革の時代としての1980-90年代にフォーカスして、この時期に頭角を現したアーティストを中心に、11組による作品40点あまりを出展。新収蔵作品のハン・ティ・ファム《自画像・ロングヘア・パイプ》(1985)をキービジュアルに用い、それぞれのアーティストが自身のバックグラウンドを見つめる中から生み出した、他の時代・地域とは異なる新たな表現の数々を紹介した。

本展では昨年度の「ベストコレクションⅡ」に続き、来場者への配布物として、作品を読み解くヒントを視覚的に提示する小冊子『超図解ガイド』を作成。また、会期中に行った学芸員によるギャラリーツアーでは、より多様な条件の来場者が参加できる機会を増やす試みとして、手話通訳つきの回を設けた。

ポスター　B2　[デザイン]長末香織
チラシ　A4　[デザイン]長末香織
小冊子(超図解ガイド)　[デザイン]長末香織
　　[編集]佐々木玄太郎

関連事業　◇学芸員によるギャラリーツアー
　　日時:2025年8月10日(日)/8月30日(土)/10月12日(日)/11月2日(日)
　　※各日 14:00～14:40
　　会場:アジアギャラリー

◇手話通訳付きギャラリーツアー
　　日時:2025年11月22日(土)
　　※各日 14:00～14:40
　　会場:アジアギャラリー

◇明治産業presents
　　パム｜Party At the Museum vol.03
　　主催:福岡アジア美術館、株式会社明治産業
　　企画:三声舎
　　日時:11月1日(土)～11月3日(月・祝)各日11:00～18:00
　　①ゲストによるスペシャルトーク「アートから学ぶフェミニズム」
　　出演:遠藤麻衣(アーティスト・俳優)
　　日時:11月3日(月・祝)14:00 ～15:30
　　会場:アートカフェ
　　②ゲストツアー「遠藤麻衣さんと鑑賞ツアー」
　　出演:遠藤麻衣
　　日時:11月3日(月・祝)15:30 ～16:15
　　会場:アジアギャラリー
　　※「ベストコレクションⅢ」関連イベントのみ抜粋

### ベストコレクションⅢ　関連記事

2025. 6.15　福岡市政だより
2025. 6.20　Fukuoka Now
2025. 6.23　ARTNE
2025. 6.30　美術展ナビ
2025. 7. 3　KBC
2025. 7.29　Yahoo!News
2025. 8.15　RKB毎日放送
2025. 8.24　朝日新聞朝刊
2025. 8.26　博多経済新聞
2025. 9. 1　よかなび
2025. 9.14　Tokyo Art Beat
2025. 9.15　福岡市政だより
2025. 9.18　アルトネ
2025.10.10　PR　TIMES

### 関連放送

2025. 8.14　RKB「タダイマ！」
2025.10. 5　LOVE FM「明治産業presents Our Culture, Our View」





# 交流事業

## 交流事業　1　招聘事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、市民との共同制作やワークショップ、トークなどの美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

当館の招聘事業は、令和4年度2期から、招聘作家の対象を国内外にひろげ、制作活動の拠点をArtist Cafe Fukuoka（旧舞鶴中学校）のスタジオに移したアーティスト・イン・レジデンス事業として拡充し、実施している。



### 第1期

### モハメド・フォズレ・ラッビ・フォティック

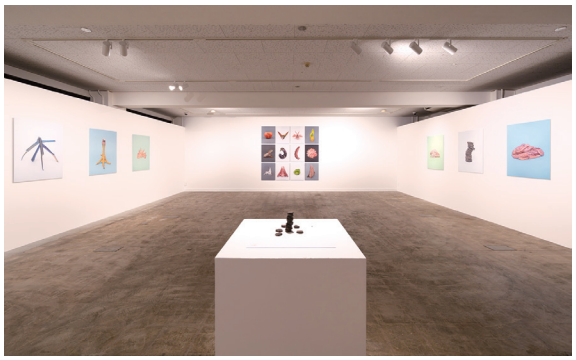
（バングラデシュ）［美術作家］

1995年バングラデシュ・クミッラ生まれ、クミッラ在住
滞在期間：2025年7月8日（火）～10月2日（木）

□主な活動

①作品制作・展示

福岡の農園や市場で、廃棄される魚の部位や規格外野菜についてリサーチするとともにそれらをスタジオで一つひとつ撮影。バングラデシュで事前に撮影した写真と共に《オボチヒンノ（痕跡なし）/ 痕跡》としてまとめ、「第24回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 いとなみを照らし出す」で、バングラデシュで飢餓の際に食されてきた土のクッキーと共に展示した。





《オボチヒンノ（痕跡なし）/ 痕跡》
2025年、Artist Cafe Fukuoka ギャラリー



撮影している様子

②トーク

7月26日（土）
キックオフ・トーク＆ワークショップ
参加者：一般58人
場　所：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース、スタジオ



キックオフ・トーク

9月14日（日）
アーティスト・トーク
参加者：一般73人
場　所：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース、ギャラリー



アーティスト・トーク



第1期

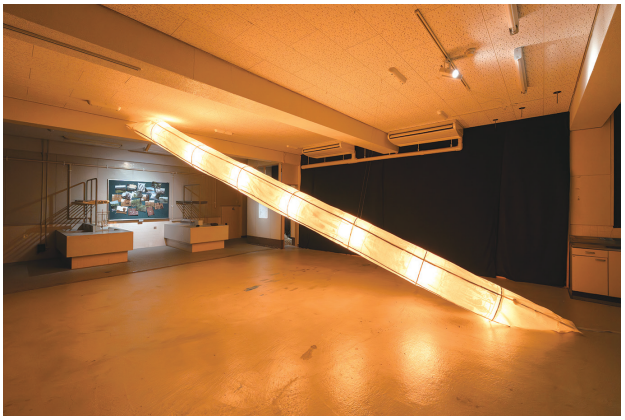
## ウィリー・サイウッド
（ラオス）[美術作家]

2001年ラオス・サイニャブリー生まれ、ビエンチャン在住
滞在期間：2025年7月8日（火）～10月2日（木）
ポートレート撮影：Konvilom Phachoumphonh

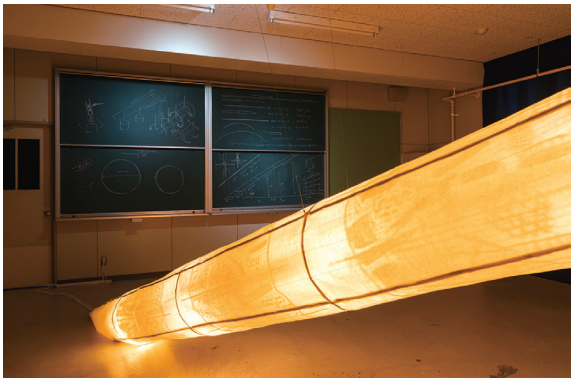
□主な活動

①作品制作・展示

ラオスと日本で失われつつある竹文化に注目し、福岡で切り出した竹と八女和紙を用いて大掛りな回転灯篭を制作。インスタレーション《動き出す遺産》として、「第24回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 いとなみを照らし出す」で展示した。



《動き出す遺産》
2025年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



《動き出す遺産》（拡大・部分）
2025年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



制作している様子

②ワークショップ

9月17日（水）
ワークショップ「みんなでサ～ンしよう！」
最初にスライドでラオスという国や竹文化、滞在制作作品について紹介をした後、色画用紙を使って様々な模様を編んでいくワークショップをおこなった。
※ラオ語の ຊານ（サーン）は「編む」という意味
参加者：福岡市立舞鶴小学校 6年生 150人
場　所：福岡市立舞鶴小学校







ワークショップ

③トーク

7月26日（土）
キックオフ・トーク＆ワークショップ
参加者：一般58人
場　所：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース、スタジオ



キックオフ・トーク＆ワークショップ

9月14日（日）
アーティスト・トーク
参加者：一般73人
場　所：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース、スタジオ



アーティスト・トーク



第1期

## 馬場さおり

(日本)[美術作家]

福岡市生まれ、福岡市在住
滞在期間:2025年7月8日(火)～10月2日(木)

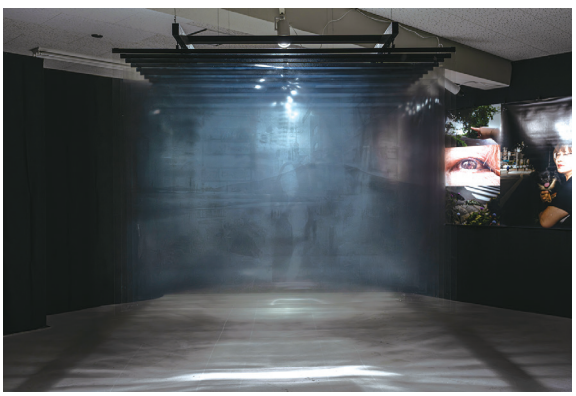
### □主な活動

①作品制作・展示

「お遍路」をテーマに、幼少期から過ごしてきた福岡の八十八か所の地を親しい人々と共に巡り、撮影した。その88枚の写真を連ねたインスタレーション《写真遍路プロジェクト__記憶の循環 2025》と写真作品《写真遍路プロジェクト__記憶の循環 2025__on the way》を「第24回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 いとなみを照らし出す」で展示した。



《写真遍路プロジェクト__記憶の循環 2025》
2025年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



《写真遍路プロジェクト__記憶の循環 2025__on the way》
2025年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



制作している様子

②トーク

7月26日(土)
キックオフ・トーク＆ワークショップ
参加者:一般58人
場　所:Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース、スタジオ



キックオフ・トーク

9月14日(日)
アーティスト・トーク
参加者:一般73人
場　所:Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース、スタジオ



アーティスト・トーク

## 第2期



### 進藤冬華
(日本)[美術作家]

札幌市生まれ、札幌市在住。
滞在期間:2025年10月14日(火)～12月22日(月)
2026年 2月25日(水)～ 3月30日(月)

□主な活動

①作品制作・展示

明治期に福岡から北海道に入植した開拓者の歴史を中心に、県内の炭坑、福岡城などもリサーチ。集めた資料を使って一般の人々や近隣の小学校の子どもたちに自由に加工・工作してもらい、それらを取り入れてインスタレーション作品《こういう記憶》を制作。「第25回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 記憶の手ざわり:世界をつなぎとめるために」で展示した。





《こういう記憶》
2025年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



リサーチの様子

②ワークショップ

11月8日(土)
「オープン・スタジオ」
参加者:一般26人
場　所:Artist Cafe Fukuokaスタジオ



ワークショップ
「オープン・スタジオ」

11月21日(金)～23日(日)、28日(金)～30日(日)
12月5(金)～7日(日)、12日(金)～14日(日)
「進藤さんのオープン・スタジオ:歴史と遊ぼう！」
作家自身が集めた資料や地図、写真などを使い、見るだけでなく、工作をしたり、絵を描いたり、家を作ったり、新しい遊びを考えたりと、思いつくまま自由に遊んでもらう場をひらいた。
参加者:一般254人
場　所:Artist Cafe Fukuokaスタジオ



ワークショップ
「オープン・スタジオ」

3月5日(木)、6日(金)
ワークショップ「歴史と遊ぼう！」
南当仁小学校を訪問し児童たちにオープン・スタジオとおなじように、様々な資料や画材を使って思い思いに工作をしてもらうワークショップをおこなった。
参加者:南当仁小学校児童 46人
場　所:南当仁小学校



ワークショップ
「歴史と遊ぼう！」

③トーク

11月1日(土)
「私たちは『新たなる自画像』を描きたい！」
参加者:福岡女子大学生16人
場　所:福岡アジア美術館 交流スタジオ



トーク(福岡女子大)




11月8日(土)
アーティスト・トーク
参加者:一般36人
場　所:Artist Cafe Fukuokaスタジオ、コミュニティスペース

3月20日(金・祝)
アーティスト・トーク
参加者:一般74人
場　所:Artist Cafe Fukuokaスタジオ、コミュニティスペース



アーティスト・トーク



## 交換レジデンス

### チェン・イェンチー（陳彦齊）
（台湾）［美術作家］

1998年台湾・台南生まれ、台南/新竹在住
滞在期間：2025年10月 1日（水）～11月22日（土）
2026年 2月25日（水）～ 3月30日（月）
ポートレート撮影：SuRui

□主な活動

①作品制作・展示

音の記憶をテーマに、横断歩道の音を街ゆく人々にインタビューした《鳥はこのように鳴くらしい》、過去・現在の恋愛と日本・台湾の歴史という二つの要素を取り入れた《スローソングス、ファストラブ》などを制作。第3期の作家と共に「第25回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 記憶の手ざわり：世界をつなぎとめるために」で展示した。



《鳥はこのように鳴くらしい》
2025年、Artist Cafe Fukuoka ギャラリー



《スローソングス、ファストラブ》
2025年、
Artist Cafe Fukuoka ギャラリー



制作している様子

②ワークショップ

11月9日（日）
「まちからはじまる創作」
大濠公園を参加者と回り、写真をとったり音を記録したり、落ち葉やお菓子の袋などを集めた。スタジオに戻り拾ってきたものを段ボールに貼りつける作業をおこない、参加者それぞれが記録した写真や音を発表した。
参加者：一般17人
場　所：Artist Cafe Fukuoka スタジオ、大濠公園



ワークショップ

③トーク

11月8日（土）
アーティスト・トーク
参加者：一般36人
場　所：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース



アーティスト・トーク

11月20日（木）
アーティスト・トーク
小学生向けに、台湾の生活や、福岡で制作中の作品について紹介した。
参加者：野芥小学校 6年生103人
場　所：福岡アジア美術館 交流スタジオ



アーティスト・トーク（小学生向け）

3月20日（金・祝）
アーティスト・トーク
参加者：一般74人
場　所：Artist Cafe Fukuokaスタジオ、コミュニティスペース



アーティスト・トーク



## 第3期

### アルピタ・アカンダ
（インド）［美術作家］

1992年インド・カタック生まれ、西ベンガル州シャンティニケータン在住
滞在期間：2026年1月13日（火）～3月25日（水）

□主な活動

①作品制作・展示

博多織や掛川織、久留米絣などの工房を訪ね、インドの織物にも通じる福岡の伝統工芸をリサーチ。そこで見出したイメージや福岡の水域図を竹和紙に両面印刷し、細く裁断して編み込む手法で作品を制作した。完成した《はざまⅠ》《はざまⅡ》は「第25回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 記憶の手ざわり：世界をつなぎとめるために」で展示。展覧会の初日には、御笠川で拾ってきた石を洗い、福岡市の地図が印刷された布で包むパフォーマンスをおこなった。



《はざまⅠ》
2026年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



《はざまⅠ》（部分）
2026年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



制作している様子

②トーク

1月31日（土）
キックオフ・トーク
参加者：一般50人
場　所：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース



キックオフ・トーク

3月20日（金・祝）
アーティスト・トーク
参加者：一般74人
場　所：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース、スタジオ



アーティスト・トーク

③パフォーマンス

3月20日（金・祝）
パフォーマンス《時を包む》
参加者：一般100人
場　所：Artist Cafe Fukuoka スタジオ



パフォーマンス



第3期

## 小田原ルーカス
（ブラジル）［美術作家］

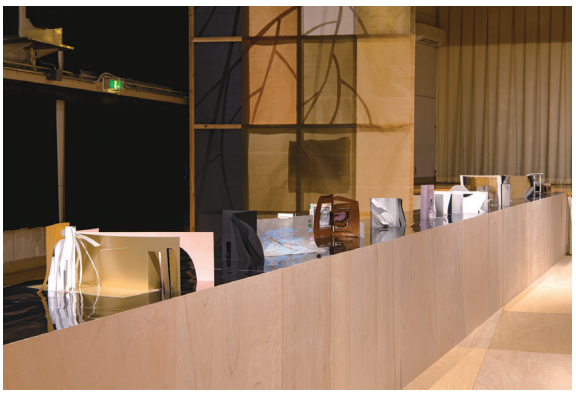
ブラジル・サンパウロおよびドイツ・ベルリン在住
滞在期間：2026年1月13日（火）～3月25日（水）

□主な活動

①作品制作・展示

祖父が福岡からブラジルに渡った移民であることから、「門」を移動のメタファーとして捉え、福岡の様々な門や舞台をリサーチ。「第25回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 記憶の手ざわり：世界をつなぎとめるために」では、グランド・スタジオ（旧体育館）内に和紙を貼り合わせた巨大な門や、花道に設置した一連のマケットからなる作品《面影》を展示した。





《面影》
2025年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



制作している様子

②トーク

1月31日（土）
キックオフ・トーク
参加者：一般50人
場　所：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース



キックオフ・トーク

3月20日（金・祝）
アーティスト・トーク
参加者：一般74人
場　所：Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース、スタジオ



アーティスト・トーク

## 博多リバレイン灯明
（「第29回博多灯明ウォッチング2025」同時開催）

10月18日（土）18：00～21：00
場　所：博多リバレイン　フェスタスクエア

毎年秋に開催される博多リバレインの灯明ウォッチングでは、レジデンス作家が灯明による地上絵のデザインと制作を担当する。今回はチェン・イェンチー（台湾）が、フェスタスクエア（ホテルオークラとリバレインセンタービルの間の通路）に、「海の彼岸から、わたしは別の音を持ってきました。」という言葉を、それぞれ台湾語と日本語の音声波形に変換した《彼岸の声 The Voice from the Other Side》を、あじびボランティアや地域の人たちと制作。揺れ動く無数の灯明によって博多の夜を彩った。



制作している様子

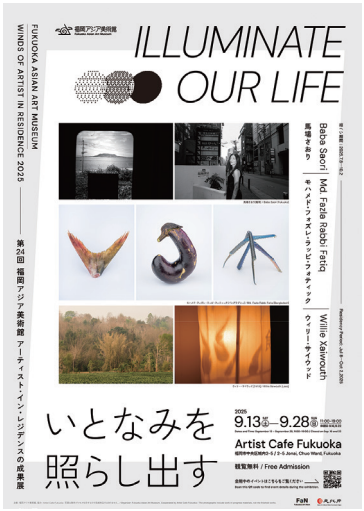


博多リバレイン灯明での《彼岸の声 The Voice from the Other Side》

# 交流事業　3　展示

国内外から招聘したアーティストたちによる様々な取り組みや、そこで展開した人々との交流、それらの成果をより多くの人と共有するために、「アーティスト・イン・レジデンスの成果展」を開催。

## 第24回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 いとなみを照らし出す




会　　期　2025年9月13日(土)～9月28日(日)
会　　場　Artist Cafe Fukuoka(福岡市中央区城内2-5)
企　　画　中尾智路、泉田佳代、藤井泉
観覧者数　2,817人

第1期に滞在していたモハメド・フォズレ・ラッビ・フォティック(バングラデシュ)、ウィリー・サイウッド(ラオス)、馬場さおり(福岡)による成果展示。暗い会場内に無数のイメージの連なりを浮かび上がらせた馬場のインスタレーションや、床から天井まで斜めに伸びた竹灯籠を回転させたサイウッドなど、教室の雰囲気を大きく変える展示となった。ギャラリーではフォティックが写真とともにバングラデシュで食されている土のクッキーを展示し、国による文化の違いを直接的に表現する内容になった。

トークイベントでは3人のアーティストそれぞれの制作や福岡の様々な場所でのリサーチの内容、また、3人やスタッフと共に過ごした滞在中の思い出などが語られた。

ポスター　B2　[デザイン]堺由加子
チ ラ シ　A4　[デザイン]堺由加子

第1期レジデンス関連記事
2025. 7.15　福岡市政だより
2025.12. 1　あじびニュースvol.98

## 第25回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 記憶の手ざわり：世界をつなぎとめるために




会　　期　2026年3月20日(金・祝)～4月12日(日)
会　　場　Artist Cafe Fukuoka(福岡市中央区城内2-5)
企　　画　中尾智路、柔原ふみ、藤井泉
観覧者数　3,565人

第2期滞在のチェン・イェンチー(台湾)、進藤冬華(北海道)、第3期滞在のアルピタ・アカンダ(インド)、小田原ルーカス(ブラジル)による成果展示。

体育館の広大な空間を巨大な門と花道から成る壮大な舞台のように仕上げた小田原、紙を素材にまるで織物のような半立体的な作品を制作したアカンダ、ワークショップの参加者が工作した小作品や北海道開拓の資料を散りばめて会場内を埋めた進藤、街中で採取した音やイメージの断片をリミックスするかのように作品化したチェンなど、4人それぞれの視点や表現方法が交錯する展示となった。

展覧会初日にはトークイベントと共に、アカンダによるパフォーマンスもおこなわれた。また近くの舞鶴公園では同時期に福岡城さくらまつりが開催されており、多くの人々が会場を訪れた。

ポスター　B2　[デザイン]堺由加子
チ ラ シ　A4　[デザイン]堺由加子

第2・3期レジデンス関連記事
2025. 9.15　市政だより
2026. 2.28　シティ情報ふくおか 3月号(No.890)
2026. 3.28　シティ情報ふくおか 4月号(No.891)
2026. 4. 1　あじびニュースvol.99

## 光電獣 Yao Chung-Han: Electronic Monsters




会　　期　2025年9月13日（土）～9月28日（日）計14日間
会　　場　Grand Studio（福岡市中央区城内2-5 Artist Cafe Fukuoka内）
企　　画　中尾智路
企画展示協力　大聲光電工作室、invisi
観 覧 者 数　3,265人

メディア・アーティストとして国際的に活躍するヤオ・ジョンハン（姚仲涵／Yao Chung-Han／1981年生まれ）による特別展示を開催。
台湾・台北市を拠点に、光と音をつかった実験的な作品で知られるヤオ・ジョンハンは、2009年に「第4回福岡トリエンナーレ」で紹介されるなど、早くから注目を集めてきたアーティスト。本展では、舞鶴中学校の体育館として使用されていたGrand Studioを会場に、天井から吊り下げられた「光電獣」と床に敷き詰められた「光曝×126」という大掛かりな照明装置を設置。ノイズ交じりの重低音とともに、照明装置から発せられる無数の強い光が、Grand Studioの大空間に光と闇の壮大なインスタレーションをつくり出した。

ポスター　B2　［デザイン］堺由加子
チ ラ シ　A4　［デザイン］堺由加子

関 連 事 業　◇サウンド・パフォーマンス
日　時：9月14日（日）19：20～19：40
（アフタートーク 19：40～20：00）
会　場：Grand Studio
来場者：133人

# 教育普及事業

◎学校による団体見学(スクールプログラム)

| | | |
|---|---|---|
| 西南学院大学 | 52人 | 4月26日 |
| 福岡県立博多青松高等学校 | 461人 | 5月 2日 |
| 福岡歯科大学 | 36人 | 5月17日 |
| Convent of the Holy Infant Jesus Secondary | 13人 | 6月 6日 |
| 筑紫女学園大学 | 6人 | 6月 8日 |
| 福岡デザイン専門学校 | 21人 | 6月10日 |
| 福岡女子商業高等学校 | 19人 | 6月12日 |
| 福岡市立曰佐小学校 | 76人 | 6月13日 |
| 放課後等デイサービス　チャイルドハートふくしげ | 15人 | 6月14日 |
| 福岡工業大学 | 18人 | 6月16日 |
| 福岡市立有田小学校 | 107人 | 6月20日 |
| 福岡工業大学 | 19人 | 7月 7日 |
| 福岡市立東光小学校 | 41人 | 7月 8日 |
| 筑紫女学園大学 | 11人 | 7月10日 |
| 福岡市立春吉小学校 | 24人 | 7月11日 |
| 福岡教育大学 | 27人 | 7月12日 |
| 放課後等デイサービス　チャイルドハートありた | 20人 | 7月12日 |
| あけぼの保育園 | 38人 | 7月15日 |
| 放課後等デイサービス　NESTING博多 | 16人 | 7月24日 |
| 放課後等デイサービス　かむらっきーず | 16人 | 7月25日 |
| 中村学園大学 | 12人 | 8月 8日 |
| 福岡市立舞鶴小学校 | 84人 | 8月29日 |
| 放課後等デイサービス　チャイルドハートはら | 18人 | 8月30日 |
| 福岡市立舞鶴小学校 | 61人 | 9月 2日 |
| 福岡市立博多小学校 | 16人 | 9月 4日 |
| 福岡市立板付北小学校 | 56人 | 9月 5日 |
| 福岡市立志賀島小学校 | 23人 | 9月 9日 |
| 福岡市立曰佐小学校 | 61人 | 9月11日 |
| 福岡市立姪北小学校 | 101人 | 9月30日 |
| 広島県立三原特別支援学校 | 8人 | 10月 2日 |
| 西南学院中学校 | 35人 | 10月 3日 |
| 北九州市立枝光台中学校 | 6人 | 10月 9日 |
| おおぞら高校　福岡キャンパス | 24人 | 10月16日 |
| 福岡市立有住小学校 | 20人 | 10月17日 |
| 中村学園大学 | 52人 | 10月18日 |
| 福岡市立百道浜小学校 | 74人 | 10月21日 |
| 九州産業大学 | 11人 | 10月26日 |
| 福岡市立玉川小学校 | 17人 | 10月31日 |
| CHIJ Katong Convent | 27人 | 11月 4日 |
| 福岡市立早良小学校 | 28人 | 11月 6日 |
| 福岡女子大学 | 53人 | 11月 8日 |
| 西南学院大学 | 18人 | 11月 9日 |
| 福岡市立板付北小学校 | 67人 | 11月10日 |
| 柳川市立柳城中学校 | 7人 | 11月15日 |
| 福岡市立曰佐小学校 | 83人 | 11月18日 |
| 福岡市立野芥小学校 | 109人 | 11月20日 |



学校による団体見学

| | | |
|---|---|---|
| 福岡市立脇山小学校 | 12人 | 11月21日 |
| 九州産業大学 | 25人 | 11月22日 |
| 福岡市立曰佐小学校 | 76人 | 11月27日 |
| 九州産業大学 | 20人 | 11月29日 |

◎博物館実習

(5月から11月までの中で10日間程度)

| | |
|---|---|
| 九州産業大学 | 1人 |
| 佐賀大学 | 1人 |
| 筑紫女学園大学 | 1人 |
| 西南学院大学 | 1人 |

◎スクールプログラムにおける招聘作家によるワークショップおよびアーティスト・トーク

ワークショップ「みんなでサ〜ンしよう！」

作　家:ウィリー・サイウッド

日　時:9月17日(水)10:40〜12:15、13:45〜15:20

参加者:福岡市立舞鶴小学校6年生150人

場　所:福岡市立舞鶴小学校

(11頁参照)

ワークショップ「歴史と遊ぼう！」

作　家:進藤冬華

日　時:3月 5日(木)、6日(金)

参加者:南当仁小学校児童46人

場　所:南当仁小学校

(13頁参照)

アーティスト・トーク

作　家:チェン・イェンチー

日　時:11月20日(木)10:05〜10:50、11:05〜11:40

参加者:野芥小学校6年生103人

場　所:交流スタジオ

(14頁参照)

# 教育普及事業

◎福岡女子大学との連携

グローバルリーダー演習Ⅰ・Ⅲ履修生×福岡アジア美術館コラボイベント

「私たちは『新たなる自画像』を描きたい！トークセッション」

日　時:11月 1日(土)10:00～12:30

参加者:福岡女子大学　学生16人

場　所:交流スタジオ

主　催:福岡女子大学

協　力:福岡アジア美術館

福岡女子大学グルーバルリーダーズ演習の履修生が美術館と連携してイベントを企画。事前に「変革の時代 新たなる自画像」観覧し、ジェンダーやリーダーシップの観点を踏まえて、こうしたい自分、こう有りたい自分、についてトークセッションをおこなった。

セッション2にはレジデンスアーティストの進藤冬華を招き、「型」にはまり囚われた自分からどう脱するか、ディスカッションをおこなった。



イベント風景




イベントチラシ

◎インクルーシブ・プログラム

手話付き対話型鑑賞プログラム

日　時:10月26日(日)11:00～12:30

参加者:福岡県立高等聴覚特別支援学校高校生4人、引率2人

場　所:アジアギャラリー

企　画:蒲池昌江、山下栞

多様な鑑賞者に利用の機会を提供するため、視覚に障がいのある高校生を対象にした鑑賞プログラムをおこなった。美術館スタッフがファシリテーター役になり福岡県立福岡高等聴覚特別支援学校の高校生と一緒に「ベストコレクションⅢ　革命の時代、新たなる自画像」展を鑑賞した。生徒たちは、作品を観て気づいたことや感じたことを手話で積極的に発言し、意見が言えたことが楽しかったと感想を語った。



実施風景

手話通訳付きギャラリーツアー

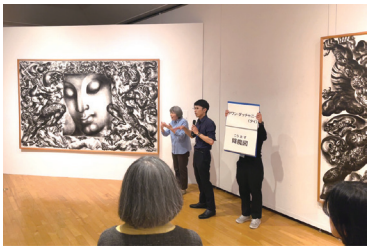
日　時:11月22日(土)14:00～14:40

参加者:一般 31人

場　所:アジアギャラリー

企　画:蒲池昌江、山下栞

「ベストコレクションⅢ　革命の時代、新たなる自画像」展の関連イベントとして、視覚に障がいのある方を対象にしたギャラリーツアーをおこなった。担当学芸員によるエピソードを交えた作品解説を手話通訳付きで実施した。参加者同士で、手話で会話しながらめぐる風景も見られた。



実施風景

◎アジア美術学習サイト拡充

アジア近現代美術を学ぶための和英バイリンガルのウェブサイト「アジア美術資料室」(ラーニングサイト)を更新。

・「地域概要」へ10か国・地域の概要を掲載。

・「重要作家」へ11人の解説を新たに掲載。

https://asianart-gateway.jp/



# ミュージアム施策事業

## 1　福岡ミュージアムウィーク

「出会いの場」「知識の場」「発見の場」としての美術館・博物館の役割をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して、福岡市内の16施設（福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、能古博物館、福岡市動植物園、福岡市文学館、高取焼本家味楽窯美術館、福岡女子大学美術館、福岡市科学館、チームラボフォレスト福岡－SBI証券）が連携し、5月17日から25日までさまざまな催しを開催した。

福岡アジア美術館の催し

□講演会

「ハン・ガン『少年が来る』を翻訳して―韓国文学の魅力を探る」
日　時：5月18日（日）14:00～15:30
講　師：井手俊作（九州芸術祭文学賞福岡県地区選考委員）
参加者：一般205人
場　所：アートカフェ


井手俊作氏講演会

□ギャラリーツアー

日　時：5月19日（月）、20日（火）、22日（木）、23日（金）
14:00～14:40
参加者：一般27人
場　所：アジアギャラリー


ギャラリーツアー

□バックヤードツアー

日　時：5月17日（土）、24日（土）14:00～15:00
参加者：一般34人
場　所：バックヤード


バックヤードツアー

□アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

日　時：5月17日（土）、18日（土）、24日（土）、25日（日）
①11:30～12:00 ②13:00～13:30
参加者：未就学児と保護者73人

□その他

・アジアギャラリー観覧料無料
・参加館を巡るスタンプラリー


アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

# ボランティア事業

昨年9月から第6期ボランティアが活動に加わり、活動全体が活性化した。令和7年12月から令和8年3月までの休館期間中も、来館者向けの活動ができないグループ(案内・解説、読み聞かせ、図書)は、研修を自主企画するなどして積極的な活動を継続しておこなった。

外部講師を迎えた館主催のボランティア研修として、新規の案内・解説ボランティアを対象にした「対話型鑑賞ファシリテーター研修」、案内・解説と読み聞かせボランティアを対象に、障がいのある子どもたちへの接し方を学ぶ研修「多様な子どもたちの理解のために」、ボランティア全員を対象に当館のコレクションについて学ぶ研修「『アジア美術館コレクションへの長く曲がりくねった道』をたどる」を開催した。

## 活動内容およびグループ別のべ人数 (ひとりが複数のグループで活動可)

令和7年4月

| 活動区分 | 活動内容 | 計 |
|---|---|---|
| 案内・解説 | アジアギャラリーの作品解説や施設案内、学校向け対話型鑑賞 | 107 |
| 図書資料 | アートカフェの書架整理および蔵書点検、図書資料推薦 | 51 |
| アーカイブ | 新聞・雑誌掲載記事のスクラップと整理 | 47 |
| 広報 | 美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送 | 28 |
| 読み聞かせ | 絵本や紙芝居の読み聞かせ | 47 |
| 活動支援 | ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画 | 24 |
| 交流 | 滞在美術作家の活動や地域交流イベントなどのサポート | 237 |
| のべ人数 | | 541 |
| ボランティア登録者数 | | 237 |

## 活動

【案内・解説】

年度目標:対話型案内を充実させよう!

1. 対話型鑑賞希望団体の増加に対するボランティア対応数の充実
2. 対話型鑑賞での案内の質の充実を図る〜ワイワイトーク実施によって、お互い研鑽を積む

開館日の13:00〜15:00にアジアギャラリーの作品について個別の来場者に解説をおこなった。学校団体向けに対話しながらグループ鑑賞をおこなうVTS (ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー)方式での案内をおこなった。休館期間中は、所蔵作品についてのレクチャー、関連した映像等の視聴会、アートカード体験、福岡市美術館の展覧会鑑賞などをおこなった。

【図書資料】

年度目標:1. ベトナム展に合わせて本の紹介コーナーを作る。
2. 不明本を出さないアートカフェの雰囲気作り

特別企画展「ベトナム、記憶の風景」に関連した本の紹介コーナーを設置したほか、担当を決めて、持ち出される図書資料がないように目配りをしながら書架整理等をおこなった。休館期間中は、アートカフェに設置するパネルの製作、福岡市美術館の閉架書庫の見学、メンバー同士による推薦図書の紹介、開館前の書架清掃などをおこなった。



図書資料

【アーカイブ】

年度目標：1. マニュアルを活用する
2. 月2回の活動
3. 親睦を深める

今年度から新聞の購読紙が5紙から3紙に変更となったため、スクラップ台紙のフォーマット変更などをおこないマニュアルの見直しも行った。休館中も活動は継続しておこなうことができるため、メンバー同士で、より一層の積極的な活動参加を促す働きかけなどをおこない、担当学芸員から出張のレポートを聞く会を企画するなどして親睦を図った。



アーカイブ

【広報】

年度目標：1. 身近な人への広報活動をしよう。
2. あじびニュースの設置場所を増やそう。

「おいでよ！夏の美術館vol.2 オバケ？展」「ベトナム、記憶の風景」展のポスター・チラシ等の発送の活動をおこなったほか、招待券や割引券の配布等も積極的におこなった。休館期間中も通常どおり広報誌「あじびニュース」の発送をおこなった。



広報

【読み聞かせ】

年度目標：1. あじ美ならではの読み聞かせを楽しもう―選本の紹介

読み聞かせをおこなう絵本や紙しばいの選書について、1. 文化や風習、2. コレクション展「変革の時代、新たなる自画像」展の出品作品のコンセプトにちなんだもの、3. 対象年齢、といった3つの観点から選んで読み聞かせをおこなった。休館期間中は、メンバーでアーティスト・カフェ・フクオカを訪問し、アーティスト・イン・レジデンスで滞在中のアーティストの制作の様子を見学した。



読み聞かせ

【交流】

第2期レジデンスプログラムで滞在中のチェン・イェンチーが地上絵をデザインしたリバレイン灯明の設置と撤収、進藤冬華のワークショップのための段ボールのペイント、第3期レジデンスプログラムで滞在した小田原ルーカスのインスタレーションに使用する和紙のアイロンがけや貼り合わせなどのサポートをおこなった。



交流

【活動支援】

年度目標：ボランティアをつなぐ
1. 久しぶりにボランティア研修旅行を計画する。
2. 今までしてきた催事（レジデンス歓迎会・ボランティア交流会・ボランティア研修会）を充実させる。

昨年度は実施できなかった研修旅行についてアンケートや投票などをおこなって研修ツアーの企画を練り、久留米市美術館へのバスツアーに決定した。52人のメンバーが参加して久留米市美術館の展覧会の見学とボランティアの方々との交流会をおこなった。連絡当番ミーティングでは、ボランティア室の使用方法やパソコンの使用が重ならないための方策について、グループを超えて熱心に協議をおこなった。

《活動支援主催によるボランティア催事》

◇連絡当番ミーティング
令和7年8月30日、11月15日、2月22日

◇レジデンス歓迎会・交流会
令和7年8月2日 第1期レジデンス歓迎会(福岡アジア美術館アジアギャラリー、会議室)44人参加、
11月1日 第2期レジデンス歓迎会(福岡アジア美術館アジアギャラリー、会議室)32人参加、
令和8年2月7日 第3期レジデンス歓迎会(アーティストカフェ・フクオカ)29人参加
◇ボランティア交流会
令和7年3月7日(福岡アジア美術館会議室)45人参加
グループ活動の紹介:活動支援ボランティアが朗読劇で活動紹介をおこなった。グループ活動の振り返りのほか、黒田雷児学芸員の退任のセレモニーをおこなった。
◇ボランティア研修バスツアー
令和8年2月21日(久留米市美術館)52人参加
久留米市美術館開館10周年記念展「『美の新地平』〜石橋財団アーティゾン美術館のいま〜」の観覧


活動支援

【館主催のボランティア研修】
(1) 対話型鑑賞ファシリテーター養成研修
日時:第1回 4月12日(土)
第2回 4月27日(日)、5月10日(土)13:00〜15:00
会場:第1回 あじびホール、第2回 会議室・アジアギャラリー、第3回あじびホール・アジアギャラリー
対象:第6期案内・解説ボランティア
講師:春日美由紀氏(うるとらまりん)
内容:新規ボランティアを対象にした、対話型鑑賞の概要とファシリテーターを実践するための基礎講座
(2) 対話型鑑賞ファシリテーター指導者研修
日時:第1・2回 5月29日(木)、第3回 5月30日(金)、第4回6月4日(水)、第5回 6月5日(木)
第1・2回 10:30〜16:00、第3回 10:00〜12:00、第4回 14:00〜16:00、第5回 10:00〜12:00
対象:第6期案内・解説ボランティア
会場:第1・2回 福岡アジア美術館 会議室、第3回 福岡市美術館 コレクション展示室・アートスタジオ、第4回 福岡アジア美術館 会議室・アジアギャラリー、第5回 福岡市博物館講座室
対象:福岡市美術館、福岡市博物館、福岡アジア美術館 職員
講師:春日美由紀氏(うるとらまりん)
内容:対話型鑑賞のファシリテーターを指導するための実践講座

(3) 講演会「アジア美術館コレクションへの長く曲がりくねった道」をたどる
日時:12月21日(日) 10:00〜12:00
会場:福岡市美術館 ミュージアムホール
対象:福岡アジア美術館ボランティア(全員)
講師:後小路雅弘氏(北九州市立美術館館長、元当館学芸課長)
内容:当館のコレクションがどのように構築されてきたのか、開館以前の調査や、収集の理念が形成されるまでの経緯をたどる講演会。
(4) 「多様な子どもたちの理解のために」
日時:令和8年3月1日(日) 10:00〜12:00
会場:福岡市美術館 ミュージアムホール
対象:福岡アジア美術館 案内・解説および読み聞かせボランティア、福岡市美術館 ガイドボランティア
講師:二宮未央氏 福岡市発達障がい者支援センター(ゆうゆうセンター)
内容:学校からの見学をはじめとする、多様な特性のある子どもたちを迎える際の配慮等についてのレクチャー。


交流会


研修会

# 広報活動

## あじびニュース




Vol.96 2025.4.1発行
- AJIBI Discuss あじびのことを話そう
- イベントレポート
- 2025年度展覧会スケジュール
- Artist in Residence TOPICS2025




Vol.97 2025.8.1発行
- AJIBI Discuss あじびのことを話そう
- 特別企画展 ベトナム、記憶の風景
- Artist in Residence 2025




Vol.98 2025.12.1発行
- 知るともっと楽しくなる！レジンデンスの舞台裏
  第１期作家のホンネ座談会
- あじび休館中でもインターネットで気軽にアジア・アートを
  探訪！
- 「ベトナム、記憶の風景」を終えて

Vol.96～98
規　　格　A4変形　見開き8ページ　　企画・編集・発行　福岡アジア美術館
編集・執筆　後藤麻与、片桐絵都　　デザイン　吉田朋史[9P]　　印刷　株式会社四ヶ所

## ホームページ

https://faam.city.fukuoka.lg.jp/
年度PV数/約142万人
年度ユーザー数/約51万人

## コンテンツ

展　　覧　　会/最新の展覧会、開催予定の展覧会、過去の展覧会、バーチャルミュージアム
イ　ベ　ン　ト/最新のイベント、開催予定のイベント、過去のイベントレジデンス/アーティスト・研究者リスト、募集要項、報告書
コレクション/アジアコレクション100、収集方針、収蔵品作品資料室/アジア美術資料室、蔵書検索
来　館　案　内/利用案内、アクセス、館内マップ、アートカフェ&ショップ、キッズコーナー、団体申込案内、スクールプログラム、施設貸出
当館について/基本理念、活動案内、施設概要、アジア美術館の歩み、刊行物、ふくおか応援寄付、ボランティア、あじびの楽しみ方

## 主要SNSアカウントインサイト（令和7年度末時点）

### Facebook

https://www.facebook.com/fukuokaasianartmuseum/
累計5,306フォロワー

### X（旧Twitter）

https://twitter.com/faamajibi

### Instagram

https://www.instagram.com/fukuoka_asian_art_museum/
累計12,617フォロワー

# 所蔵作品

# 所蔵作品　1　新所蔵作品

## 新所蔵作品数　令和7年度

| | 購入 | 寄贈 | 令和7年度合計 | 累計 |
|---|---|---|---|---|
| 平面(絵画) | 1 | 43 | 44 | 1,523 |
| 立体(彫刻) | 0 | 8 | 8 | 241 |
| 版画 | 0 | 38 | 38 | 3,452 |
| 写真 | 0 | 1 | 1 | 373 |
| ビデオ | 0 | 1 | 1 | 94 |
| 研究資料 | 0 | 10 | 10 | 50 |
| その他 | 0 | 3 | 3 | 90 |
| 合計 | 1 | 104 | 105 | 5,823 |

※作品データは、以下の順で記載
作家名(拠点)
タイトル
制作年
ジャンル　素材
サイズ(cm)

## 新所蔵作品一覧

1　アン・チャンホン(韓国)
春の日は過ぎゆく-2
2007年
平面／アクリル、コラージュ、インクジェットプリント・紙
107.5×158.8

2　アン・チャンホン(韓国)
花畑にて
2006年
版画／リトグラフ・紙
80×49.5

3　シー・チン(石青)(中国)
運転手の王さんと娘
2007年
写真／写真(3点組)
207×212.5

4　ジュハリ・サイード(マレーシア)
バジュ・クロンと一杯のコーヒー
1991年
版画／リノカット・紙
54.5×56.5

5　ジュハリ・サイード(マレーシア)
無題
1996年
平面／木版、パステル、コーヒー・紙
71.5×49.2

6　ニティ・ワットゥヤー(タイ)
灰色の河の上の金色に塗られた人間
1998年
平面／アクリル・画布
94.2×71.2

7　ニティ・ワットゥヤー(タイ)
灰色の河の上の金色に塗られた人間
1998年
平面／アクリル・画布
71.2×94.2

8　ニティ・ワットゥヤー(タイ)
金色の中の人間
1998年
平面／アクリル・画布
100.2×90.1

9　チャーチャーイ・ブイピア(タイ)
地獄の門
2000年
平面／油彩・画布
85.3×72.3

10　チャーチャーイ・ブイピア(タイ)
天使たち
2000年
平面／油彩・画布
85.3×72.3

11　モハマッド・マハブブ・ラーマン(バングラデシュ)
新たなる自裁
2000年
平面／油彩・カンバス、ビーズ、レース、色紙、スパンコール、紐、発泡スチロール、フリンジ、プラスチック玉
91.5×91.5

12　ジャマル・ウッディン・アフメッド(バングラデシュ)
(題不詳)
1984年
平面／油彩・画布
72.5×60.5

13　ボウワー・デーヴィー(インド)
蛇(ナーガ)
1990年代
平面／顔料・紙
37×26.1

14　コビール・アフメッド・マスム・チスティと福岡の小学生(バングラデシュ)
昨日、私たちが一緒に見た夢
2014年
ビデオ／アニメーション(サウンド、2分35秒)

15　作者不詳(インド)
トラに乗るドゥルガー
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
21×15.5

16　作者不詳(インド)
笛を吹くクリシュナ
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
21×15.5

17　作者不詳(インド)
ラーマとその一族
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
20×15

18　作者不詳(インド)
シュリナトジー(クリシュナ)
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
20×15

19　作者不詳(インド)
ラーマとその家族
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
20×15

20　作者不詳(インド)
ヒンドゥー教の聖者
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
20×17

21　作者不詳(インド)
クリシュナとラーダー
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
21.5×16.3

22　作者不詳(ドイツ・インド)
シヴァとその家族
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
20×15.5

23　作者不詳(ドイツ・インド)
バドリシュ・パンチャーヤタン(ヴィシュヌ)
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
20×15

24　作者不詳(ドイツ・インド)
ブランコに乗るクリシュナとラーダー
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
20×15

25　作者不詳(ドイツ・インド)
ガネーシャ
20世紀前半
版画／オレオグラフ・紙
20.5×15

26　作者不詳(インド)
ラクシュミー
20世紀
平面／顔料・木
11.5×11.7

27　作者不詳(インド)
ガジャ・ラクシュミーとヤントラ
19世紀前半
平面／顔料・紙
19.4×23.5

28　作者不詳(インド)
ガジャ・ラクシュミー
19世紀前半
平面／顔料・紙
24×27.8

29　作者不詳(インド)
シュリーナートジー(クリシュナ)
19世紀前半
平面／顔料・紙
32.5×26.5



アン・チャンホン(韓国)
《春の日は過ぎゆく-2》
2007年



チャーチャーイ・プイピア(タイ)
《地獄の門》
2000年

30 作者不詳(インド)
シュリーナートジー(クリシュナ)
19世紀前半
平面／顔料・紙
12.5×8.6

31 作者不詳(インド)
シュリーナートジー(クリシュナ)
19世紀前半
平面／顔料・紙
13.1×7.3

32 作者不詳(インド)
ガネーシャ・ヤントラ
(ラージャスターン)
制作年不詳
平面／インク・紙
52×39.5

33 作者不詳(インド)
ナーガの上に横たわるヴィシュヌ
20世紀後半
平面／インキ、水彩、オフセット印刷・紙
35.5×50.5

34 作者不詳(マイソール絵画)(インド)
ラーマの戴冠式
19世紀後半
平面／顔料・紙
50×59.5

35 作者不詳(マイソール絵画)(インド)
ラーマの戴冠式
19世紀後半
平面／顔料・紙
34.5×42.5

36 作者不詳(タンジャーヴール絵画)(インド)
ナンディーに乗るシヴァとパールヴァティー
19世紀後半
平面／水彩、金箔・布
39.8×34.5

37 作者不詳(タンジャーヴール絵画)(インド)
ムルガン
19世紀後半
平面／顔料、金箔、鏡・布
45.2×33.8

38 作者不詳(ピチュワーイー絵画)(インド)
シュリナート寺院のクリシュナ
19世紀後半
平面／顔料・紙
32.7×26.5

39 作者不詳(ラージプート絵画)(インド)
剣と短銃を持った王族
1860-70年代
平面／顔料・紙
47.5×34.8

40 作者不詳(パド絵画)(インド)
英雄バブジー
20世紀末
平面／顔料・布
43.5×29.5

41 作者不詳(パハリ絵画)(インド)
ガネーシャ
19世紀
平面／水彩・紙
16×9.3

42 作者不詳(ビーカーネール絵画)(インド)
悪魔からヴェーダ(聖典)を取り返すマツヤ
19世紀
平面／顔料・紙
12×18.5

43 作者不詳(インド)
ドゥルガー礼賛
19世紀
平面／水彩、金・紙
29.5×39.5

44 作者不詳(インド)
クリシュナの笛の誘惑(『バーガヴァタ・プラーナ』第10巻35話より)
18世紀後半
平面／水彩・紙
24.5×37.3

45 作者不詳(インド)
クリシュナとバララーマ、邪悪な王カムサの闘士たちと戦う
(『バーガヴァタ・プラーナ』第10巻より)
18世紀後半
平面／水彩・紙
19×34

46 作者不詳(インド)
ブラフマーとガルーダに乗ったヴィシュヌ(『ラズム・ナーマ』より)
19世紀前半
平面／水彩、金・紙
27.6×20

47 作者不詳(ラージャスターン)(インド)
地獄絵
1820年頃
平面／水彩・紙
12.6×27.8

48 作者不詳(ラージャスターン)(インド)
地獄絵
1820年頃
平面／水彩・紙
12.5×27.8

49 作者不詳(インド)
地獄絵
制作年不詳
平面／顔料・紙
12.2×24.5

50 作者不詳(カーリガート絵画)(インド)
ラーマの戴冠式
19世紀後半
平面／水彩・紙
32.6×26.5

51 作者不詳(インド)
ケロアルの創世神話(ベンガル・ポト)
20世紀後半
平面／顔料・紙
219×19

52 作者不詳(インド)
男女像(ベンガル・ポト)
20世紀初頭
平面／顔料・紙
201.3×11.5

53 作者不詳(インド)
ピシャチ/悪霊(サンタル・ポト)
20世紀初頭
平面／顔料・紙
214.3×16.3

54 ドゥグシャム ・チットロコル(インド)
マノハールの死刑の話(ベンガル・ポト)
20世紀初頭
平面／顔料・紙
311.8×32

55 モホン・チットロコル(インド)
パハ・ブージャー(サンタル・ポト)
20世紀末
平面／水彩・紙、竹、布
234×21

56 ドゥクシャム・チットロコル(インド)
虎にまたがるサティヤピール
20世紀後半
平面／顔料・紙
27.8×15.2

57 作者不詳(民俗画)(インド)
入墨をした男女
1980年代
平面／墨・紙
56.1×35.3

58 作者不詳(民俗画)(インド)
虎
1980年代
平面／墨・紙
56.2×35.4

59 作者不詳(日本・インド)
ヒマラヤカイラーサ山を運ぶハヌマーン
20世紀前半
立体／陶器
15×15

60 作者不詳(日本・インド)
竜王アナンタの上で眠るヴィシュヌ
20世紀前半
立体／陶器
6.7×5.3

61 作者不詳(日本・インド)
虎(ライオン)に乗るドゥルガー
20世紀前半
立体／陶器
6×6.5

62 作者不詳(日本・インド)
笛を吹くクリシュナ
20世紀前半
立体／陶器
11.2×4

63 作者不詳(インド)
クリシュナ
20世紀前半
立体／塗料・石
12.6×7.5×3

64 作者不詳(インド)
女性像
20世紀後半
立体／塗料・土
8.9×6.5×5.2

65 作者不詳(インド)
ドリシュティ・ブーマイ仮面
20世紀後半
立体／塗料・紙
22.5×20.2

66 作者不詳(インド)
ドリシュティ・ブーマイ仮面
20世紀後半
立体／塗料・紙
22.8×20.3

67 作者不詳(インド)
インドマッチラベル(34シート、412枚)
20世紀
平面／電胎凸版刷・紙
23.8×16.7

68 作者不詳(インド)
タバコポスター/幼児クリシュナ
20世紀
研究資料／オフセット・紙
29.5×21

69 作者不詳(インド)
スワスティック・オイル・ミルズポスター/クリシュナ
20世紀
研究資料／オフセット・紙
29.4×21

70 作者不詳(インド)
パルナミお香複製ポスター/ヴィシュヌ
20世紀
研究資料／オフセット・紙
21×29.5

71 作者不詳(インド)
ラクシュマンダラ薬ポスター/女性像
20世紀
研究資料／オフセット・紙
21×29.5

72 作者不詳(インド)
タバコポスター/クリシュナ
20世紀
研究資料／オフセット・紙
21×29.5

73 作者不詳(インド)
インド大衆宗教画ハガキセット(60枚)
20世紀
研究資料／オフセット・紙
15.6×10.1

74 作者不詳(インド)
インド大衆宗教画カードカレンダー(22枚)
20世紀
研究資料／オフセット・紙・ラミネートフィルム
9×6.2

75 作者不詳(インド)
インド大衆宗教画シール(6枚)
20世紀
研究資料／オフセット・紙
16×8.8

76 作者不詳(インド)
ラーマーヤナ
20世紀
研究資料／オフセット・紙
36.7×26

77 英領インド(発行)ほか(インド)
インド切手(36シート、806枚)
19世紀末〜20世紀中頃
参考作品／凹版/オフセットほか・紙

78 インド政府(発行)(インド)
インド切手(13シート、435枚)
20世紀後半〜21世紀初頭
参考作品／オフセット印刷・紙

79 作者不詳(インド)
インド切手及び発行日消印付き封筒(43枚)
19世紀末〜20世紀中頃
参考作品／凹版/オフセットほか・紙、封筒

80 作者不詳(インド)
ジヴァティの物語(版下4)
20世紀中頃
研究資料／インク・紙
23.8×16.7

81 作者不詳(インド)
ガンジーファ
20世紀
版画／顔料・板
7(直径)

82 作者不詳(インド)
ガンジーファ
20世紀
版画／顔料・板
6.6(直径)

83 作者不詳(インド)
ガンジーファ
20世紀
版画／顔料・板
7.3(直径)

84 作者不詳(インド)
ガンジーファ(箱付き)
20世紀
版画／顔料・板(カード)、顔料・木(箱)
5.2×10×5

85 作者不詳(インド)
ガンジーファ
20世紀
版画／顔料・板
9.8(直径)

86 作者不詳(インド)
ガンジーファ(箱付き)
20世紀
版画／顔料・板(カード)、顔料・木(箱)
9.7×12.5×5.2

87 作者不詳(インド)
ガンジーファ
20世紀
版画／顔料・板
7(直径)

88 作者不詳(インド)
ガンジーファ
20世紀
版画／顔料・板
4.1(直径)

89 作者不詳(インド)
ガンジーファ
20世紀
版画／顔料・板
3.8(直径)

90 作者不詳(インド)
ガンジーファ
20世紀
版画／顔料・板
3.7(直径)

91 作者不詳(インド)
ガンジーファ
20世紀
版画／顔料・板
7.6(直径)

92 作者不詳(インド)
ガンジーファ(箱付き)
1990年代
版画／顔料・板(カード)、顔料・木(箱)
12×12.5×13

93 作者不詳(インド)
ガンジーファ(箱付き)
20世紀
版画／顔料・板(カード)、顔料・木(箱)
6.8(直径)

94 作者不詳(インド)
ガンジーファ(箱付き)
20世紀
版画／顔料・板(カード)、顔料・木(箱)
8.8(直径)

95 作者不詳(インド)
ガンジーファ(箱のみ)
20世紀
版画／顔料・木
7.5×6.8×16.1

96 作者不詳(インド)
ガンジーファ(箱のみ)
20世紀
版画／顔料・木
5.3×5×10

97 作者不詳(インド)
ガンジーファ(不揃い)
20世紀
版画／顔料・紙

98 作者不詳(インド)
トランプ
20世紀後半
版画／オフセット印刷・紙
8.9×6.4

99 作者不詳(インド)
トランプ
20世紀
版画／顔料・板
8.3×5.5

100 作者不詳(インド)
トランプ
20世紀
版画／顔料・板
8.3×5.4

101 作者不詳(インド)
トランプ
2000年代
版画／オフセット印刷・紙
8.9×5.7

102 M. E. ビュルヌフ/ 挿絵: A. ゲリンガー(フランス)
『フランス領インド(マツヤ)』
1827−35年
版画／リトグラフ、水彩・紙
46.2×39.6

103 M. E. ビュルヌフ/ 挿絵: A. ゲリンガー (フランス)
『フランス領インド(ヴィシュヌ)』
1827−35年
版画／リトグラフ、水彩・紙
46.5×39.9

104 M. E. ビュルヌフ/ 挿絵: A. ゲリンガー(フランス)
『フランス領インド(クールマ)』
1827−35年
版画／リトグラフ、水彩・紙
46.2×39.6

105 M. E. ビュルヌフ/ 挿絵: ジャック・フランソワ・ゴードリック・リャンタ(フランス)
『フランス領インド(ヴァラーハ)』
1827−35年
版画／リトグラフ、水彩・紙
46.2×39.6

## 所蔵作品　2　貸出一覧

※2025年4月以降

貸 出 先:鳥取県立美術館
展覧会名:ART OF THE REALアート・オブ・ザ・リアル時代を超える美術
　　―若冲からウォーホル、リヒターへ―
展示期間:2025年3月30日(日)～5月11日(日)※前期展示
　　(会期:3月30日(日)～6月15日(日))
作品点数:1点

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | チェン・ジン(陳進) | サンティモン社の女 |

貸 出 先:ナショナル・ギャラリー・シンガポール(シンガポール)
展覧会名:City of Others: Asian Artists in Paris, 1920s-40s
展示期間:2025年4月2日(水)～8月17日(日)
作品点数:1点

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | リウ・カン(劉抗) | スリッパ |

貸 出 先:ライトウッド659(アルファウッド・エキシビションズ)(アメリカ・シカゴ)
展覧会名:The First Homosexuals: The Birth of a New Identity, 1869-1939
展示期間:2025年5月2日(金)～8月2日(土)
作品点数:5点

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | サヤー・チョン | 王室の肖像 |
| 2 | ライオネル・ウェント | 少年と波(ネガとポジ) |
| 3 | ライオネル・ウェント | シンハラ人漁師のトルソ |
| 4 | ライオネル・ウェント | 題不詳(黒のヴェッティをまとう男のヌード) |
| 5 | ライオネル・ウェント | 題不詳(少年と椰子の葉) |

貸 出 先:ナショナル・ギャラリー・シンガポール(シンガポール)
展覧会名:Tchang Ju Chi: The Tireless Camel
展示期間:2025年7月18日(金)～2026年6月21日(日)
作品点数:1点

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | ジャン・ルーチー(張汝器) | 林学大の肖像 |

貸 出 先:東京国立近代美術館
展覧会名:コレクションを中心とした特集　記録をひらく 記憶をつむぐ
展示期間:2025年7月15日(火)～10月26日(日)
作品点数:3点

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | リウ・カン(劉抗) | 古い通り |
| 2 | フェルナンド・アモルソロ | バターンの少女 |
| 3 | リウ・ロンフォン(劉栄楓) | 満洲の収穫 |

貸 出 先:ナショナル・ギャラリー・シンガポール(シンガポール)
展覧会名:Between Declarations and Dreams: Art of Southeast Asia since the 19th Century
展示期間:2025年8月17日(日)～2026年3月31日(火)
作品点数:1点

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | リウ・カン(劉抗) | スリッパ |

貸 出 先:福岡市美術館
展覧会名:「北」へのまなざし
展示期間:2025年9月2日(火)～12月21日(日)
作品点数:5点

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | 矢崎千代二 | 建国忠霊廟 |
| 2 | 矢崎千代二 | 京城 |
| 3 | 松田黎光(まつだ　れいこう) | 妓生の家 |
| 4 | 松田黎光(まつだ　れいこう) | 剣舞 |
| 5 | リウ・ロンフォン(劉栄楓) | 満洲風景 |

貸 出 先:福岡市美術館
展覧会名:珠玉の近代絵画ー「南国」を描く。
展示期間:2025年10月11日(土)〜11月24日(月)
作品点数:11点(うち3点は寄託作品)、図書資料10点

※9〜11は寄託作品

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | 塩月桃甫 | ガランピ灯台 |
| 2 | モリ・キンセン(森錦泉/吉五郎) | スンビン山の眺め |
| 3 | 横田仁郎(よこた　にろう) | クロング・プラケオ風景 |
| 4 | ロビンドロナト・タクル(ラビンドラナート・タゴール) | 女性像 |
| 5 | オボニンドロナト・タクル(アバニンドラナート・タゴール) | アショーカ王妃と菩提樹 |
| 6 | アブドゥル・ラハマーン・チュグターイー | ある芸術家の作品 |
| 7 | 矢崎千代二 | コルカタ・マイダン |
| 8 | アブドゥル・ラハマーン・チュグターイー | 消えた炎 |
| 9 | モリ・キンセン(森錦泉/吉五郎) | ジャワの農村風景 |
| 10 | 横田仁郎 | 水上市場 |
| 11 | 横田仁郎 | 水上風景 |

貸 出 先:立命館大学国際平和ミュージアム
展覧会名:戦後80年・ベトナム戦争終結50年　立命館大学国際平和ミュージアム秋季特別展　反戦のプリズム
展示期間:2025年11月1日(土)〜12月25日(木)
作品点数:1点

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | ディン・Q・レ | 南シナ海ピシュクン |

貸 出 先:屏東県立美術館(台湾・屏東)
展覧会名:大湧崁岸
展示期間:2026年3月28日(土)〜6月28日(月)
　　(会期:3月28日(土)〜2027年11月28日(日))
作品点数:1点

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | チェン・ジン(陳進) | サンティモン社の女 |

# 所蔵作品　3　修復一覧

| | 作者 | 作品名 |
|---|---|---|
| 1 | マー・ドーション(馬徳昇) | 月(002) |
| 2 | マー・ドーション(馬徳昇) | 《無題(8115)》 |
| 3 | チュー・レイレイ(曲磊磊) | 真理への奉仕ーガリレイ |
| 4 | チュー・レイレイ(曲磊磊) | 風 |
| 5 | グエン・ティエン・チュン | 女性兵士 |
| 6 | モンティエン・ブンマー | 溶ける虚空／心の型(仏頭) |
| 7 | ヴォー・アン・カイン | 軍移動診療所 1970年9月 |
| 8 | ヴォー・アン・カイン | 政治学の課外授業 1972年7月 |
| 9 | ヘリ・ドノ | うわさ話のガムラン |

# 図書資料

## 新収図書

単位(冊)

| | 購入 | 寄贈 | 計 |
|---|---|---|---|
| 和書 | 82 | 817 | 899 |
| 洋書 | 24 | 350 | 374 |
| 雑誌 | 19 | 87 | 106 |
| 計 | 125 | 1,254 | 1,379 |

## 総蔵書数(2026年3月現在)

図書

| | 冊数 |
|---|---|
| 和書 | 33,227 |
| 洋書 | 17,563 |
| 計 | 50,790 |

雑誌

| | 冊数 |
|---|---|
| 和雑誌 | 7,576 |
| 洋雑誌 | 2,599 |
| 計 | 10,175 |

# 観覧者数

## 年度別観覧者数

| 年度別 | 開館日数 | 常設展 | 特別企画展 | 貸館展覧会等 | 合計 | 1日平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成10年度 | 22 | | 22,250 | | 22,250 | 1,011 |
| 11年度 | 242 | 38,530 | 149,395 | 70,336 | 258,261 | 1,067 |
| 12年度 | 309 | 66,421 | 118,677 | 106,529 | 291,627 | 944 |
| 13年度 | 302 | 29,632 | 15,330 | 186,987 | 231,949 | 768 |
| 14年度 | 301 | 45,472 | 71,375 | 40,452 | 157,299 | 523 |
| 15年度 | 307 | 56,623 | 167,353 | 64,827 | 288,803 | 941 |
| 16年度 | 305 | 39,828 | 37,815 | 81,015 | 158,658 | 520 |
| 17年度 | 294 | 42,679 | 107,203 | 90,714 | 240,596 | 818 |
| 18年度 | 307 | 53,872 | 69,007 | 96,847 | 219,726 | 716 |
| 19年度 | 309 | 45,501 | 81,972 | 88,543 | 216,016 | 699 |
| 20年度 | 307 | 50,719 | 67,797 | 142,131 | 260,647 | 849 |
| 21年度 | 286 | 35,740 | 111,635 | 77,814 | 225,189 | 787 |
| 22年度 | 307 | 40,820 | 57,272 | 83,921 | 182,013 | 593 |
| 23年度 | 311 | 62,267 | 57,101 | 150,081 | 269,449 | 866 |
| 24年度 | 313 | 66,876 | 54,893 | 188,001 | 309,770 | 990 |
| 25年度 | 311 | 54,509 | 204,388 | 84,587 | 343,484 | 1,104 |
| 26年度 | 288 | 39,412 | 61,915 | 141,305 | 242,632 | 842 |
| 27年度 | 311 | 49,477 | 54,117 | 186,158 | 289,752 | 932 |
| 28年度 | 311 | 65,061 | 49,082 | 137,182 | 251,325 | 808 |
| 29年度 | 313 | 66,383 | 62,999 | 183,358 | 312,740 | 999 |
| 30年度 | 312 | 56,467 | 64,460 | 160,262 | 281,189 | 901 |
| 令和元年度(※1) | 293 | 29,284 | 62,362 | 120,444 | 212,090 | 724 |
| 2年度(※1) | 265 | 14,848 | 0 | 61,541 | 76,389 | 288 |
| 3年度(※1) | 244 | 32,129 | 25,765 | 68,970 | 126,864 | 520 |
| 4年度 | 313 | 56,480 | 47,475 | 252,988 | 356,943 | 1,140 |
| 5年度 | 315 | 62,068 | 145,075 | 79,096 | 286,239 | 909 |
| 6年度 | 313 | 80,706 | 25,773 | 122,339 | 228,818 | 731 |
| 7年度(※2) | 216 | 45,455 | 47,419 | 55,012 | 147,886 | 685 |
| 累計 | 8,027 | 1,327,259 | 2,039,905 | 3,121,440 | 6,488,604 | |

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により下記期間臨時休館
R元年度:2/27～3/20、R2年度:4/4～5/18、R3年度:5/12～6/20、8/9～9/13
※2 改修工事のため12/1～3/31休館

## 月別観覧者数

| 月別 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 11,904 | 20,466 | 20,526 | 24,276 | 41,724 | 9,278 | 9,152 | 10,560 | 改修工事のため休館 | | | | 147,886 |

## あじびホール月別使用状況

| 月別 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 6 | 9 | 9 | 7 | 8 | 9 | 10 | 17 | 改修工事のため休館 | | | | 75 |
| 人数 | 403 | 552 | 541 | 538 | 586 | 417 | 1,139 | 1,308 | | | | | 5,484 |

## あじびホール年度別使用状況

| 年度別 | 件数 | 人数 |
|---|---|---|
| 平成10年度 | 21 | 1,730 |
| 11年度 | 110 | 8,480 |
| 12年度 | 106 | 9,682 |
| 13年度 | 58 | 8,834 |
| 14年度 | 50 | 5,849 |
| 15年度 | 70 | 7,353 |
| 16年度 | 87 | 8,681 |
| 17年度 | 89 | 7,336 |
| 18年度 | 109 | 11,609 |
| 19年度 | 113 | 11,487 |
| 20年度 | 145 | 13,360 |
| 21年度 | 102 | 8,227 |
| 22年度 | 119 | 10,198 |
| 23年度 | 119 | 12,750 |
| 24年度 | 148 | 14,069 |
| 25年度 | 134 | 13,183 |
| 26年度 | 113 | 9,698 |
| 27年度 | 135 | 11,361 |
| 28年度 | 135 | 12,874 |
| 29年度 | 153 | 13,835 |
| 30年度 | 149 | 15,415 |
| 令和元年度 | 154 | 13,068 |
| 2年度 | 79 | 4,031 |
| 3年度 | 80 | 4,842 |
| 4年度 | 144 | 8,193 |
| 5年度 | 102 | 7,281 |
| 6年度 | 90 | 6,925 |
| 7年度 | 75 | 5,484 |
| 累計 | 2,989 | 265,835 |

## あじびホール使用状況内訳

| 催物別 | 件数 | 人数 |
|---|---|---|
| 講演会 | 10 | 788 |
| セミナー | 5 | 245 |
| アーティストトーク | 3 | 263 |
| ワークショップ | 1 | 0 |
| 映画 | 15 | 1,241 |
| 演劇 | 3 | 170 |
| 音楽 | 10 | 618 |
| 落語 | 7 | 702 |
| 漫才 | 3 | 313 |
| 展示 | 11 | 809 |
| その他 | 7 | 335 |
| 合計 | 75 | 5,484 |

## 常設展・特別企画展

| 展覧会名 | 開催期間 | 日数 | 計 | 1日平均 | 有料観覧者数 | | | | 無料観覧者数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 一般 | 高・大 | 小・中 | 計 | |
| 常設展 | 4/1-8, 4/24-6/22, 7/5-11/30 | 194 | 45,455 | 234 | 15,670 | 2,074 | 0 | 17,744 | 27,711 |
| 特別企画展 | | | | | 一般・大 | 高・中 | 小 | | |
| おいでよ！夏の美術館 vol.2 「オバケ？」展 | 7月10日-8月31日 | 53 | 41,157 | 777 | 19,690 | 623 | 5,872 | 26,185 | 14,972 |
| 特別企画展 ベトナム、記憶の風景 | 9月13日-11月9日 | 50 | 6,262 | 125 | 3,402 | 302 | 0 | 3,704 | 2,558 |

貸館展覧会等　7階企画ギャラリー

| 展覧会名 | 開催期間 | 日数 | 観覧者数 | 内容等 |
|---|---|---|---|---|
| 范国強書画展･北原白秋･若山牧水書真跡展･若山牧水名歌８首日中合同書道展 | 4/10～4/15 | 6 | 1,004 | 「線」をテーマに、個々の経験、観点、概念にランダム性、無秩序性、不確実性を探求する作品を展示 |
| 第31回アジア美術家連盟日本委員会展 | 4/17～4/22 | 6 | 1,117 | 洋画、日本画、版画、彫刻、立体造形、映像作品を展示 |
| 手塚治虫　ブラックジャック展 | 4/22～6/22 | 50 | 21,980 | 漫画の原画、漫画の複製原画、パネル、映像等『ブラック･ジャック』が描かれた昭和の当時の様々な出来事に影響を受けた作品や手塚治虫の情熱と執念が感じられる当時の関係資料、『ブラック･ジャック』が生まれた秘密が解き明かされる証言映像などを多数展示 |
| アートスタジオアライブ　鉛筆画教室100人展 | 6/26～7/1 | 6 | 1,663 | 鉛筆画教室の生徒83名と講師による鉛筆画作品を約300点程展示 |
| 2025 Korean comtemporary artists solo Exhibition キム･ソンガンとナム･ジュヨン作家のブース個展 | 6/26～7/1 | 6 | 668 | 韓国の現代作家32名によるグループ展。絵画、立体、陶芸など、表現技法やテーマも多様な作品が一堂に会し現代韓国アートの奥行きと広がりを体感できるもの |
| おいでよ！夏の美術館vol.2　オバケ？展 | 7/10～8/31 | 53 | 41,157 | 会いたくないのに会ってみたい「オバケ」。そんな不思議なオバケを見て、感じて、知って、オバケになる。空想の扉が開かれ楽しくて新しい展覧会！絵本、漫画、落語、アニメーション、音楽、写真など、「オバケ」が大集合する空想の扉が開かれ楽しく新しい展覧会 |
| ベトナム、記憶の風景 | 9/13～11/9 | 50 | 6,262 | ベトナム戦争終結50周年を記念しベトナムアーティストによる美術作品、グラフィックを展示。植民地支配と独立への闘い、難民の発生やグローバル化など、近代以降の世界の課題を経験してきたベトナム激動の100年をベトナムのアーティストの美術作品約から辿る。 |
| 合　　計 | | 177 | 73,851 | |

貸館展覧会等　8階交流ギャラリー

| 展覧会名 | 開催期間 | 日数 | 観覧者数 | 内容等 |
|---|---|---|---|---|
| Ａクロスの会作品展「遊びの交差展」 | 3/27～4/1 | 6 | 120 | 創作活動を楽しむ15人の仲間達が一同に作品を展示。葦ペン画・水彩画・写真・折り紙・ビーズ織り・カラフル書・版画・中国画・ビスクドール・トールペインティング・ステンドグラス・デコレーションペイント・中国画・五行歌 |
| 第15回躍動する現代作家展 | 4/3～4/8 | 6 | 836 | 現在活躍している作家の表現をより多くの方々に知って頂き、アートと社会を繋げ文化として定着を図る事を目的とする国際公募展。油彩画、水彩画、アクリル画、書、立体作品等 |
| 線性展 | 4/10～4/15 | 6 | 747 | 「線」をテーマに、個々の経験、観点、概念にランダム性、無秩序性、不確実性を探求する作品を展示 |
| 第54回春光展（自詠歌書展） | 4/17～4/22 | 6 | 626 | 書作品（軸仕立、額装等）･･･ささやかな自詠歌書展 |
| 写真家 蒲池弘吉　写真展　“Feeling Journey” | 4/24～4/29 | 6 | 1,008 | 写真、陶芸、木彫、織物等　四季折々日本全国を旅して撮影した「心象風景写真」を展示観る人に癒しと元気と感動を与える絵画的写真作品がメインで蒲池弘吉の写真をモチーフとした陶芸・木彫・織物の各作品も併せて展示 |
| 2025福岡韓国現代美術展 | 5/1～5/6 | 6 | 683 | 現代美術品（絵画、写真、工芸） |
| MIYOYOと友達 | 5/8～5/13 | 6 | 496 | 「愛・知恵・幸福」をテーマに、優しさと癒しの力の作品登場するキャラクターたちは「可愛さ」への想いを映し出し、心にぬくもりと安らぎを届けることを願っている |
| 大坪　亮太個展　写真展RGB～Finale～ | 5/15～5/20 | 6 | 562 | 九州の熊本や大分を中心とした自然風景の写真展。光の三原色と言われる赤・緑・青の三色を中心に、B0サイズの写真を9枚展示 |
| 中国の芸術家の美と触れ合う | 5/22～5/27 | 6 | 568 | 賈志発、汪鴻、陳炯、劉明才、陳浩、魏新、王水清、戴剣波などのアーティストによる水墨画、水彩画、油絵 |
| 曼荼羅アーティスト100人展 | 5/29～6/3 | 6 | 1,207 | 曼荼羅アートの美しさと創造性を広く発信することを目的とし、アーティストそれぞれの個性や創造性が表現された作品を通じて曼荼羅の魅力を多くの方に感じていただき曼荼羅アートの可能性を共に広げる場を提供 |
| Pojagi Sesttam<br>韓国伝統手芸チョガッポ作品展 | 6/5～6/10 | 6 | 751 | Pojagi Sesttam（ポジャギ セッタム）受講生34名が制作した、韓国の伝統的な手芸「チョガッポ（ポジャギ）」の作品を展示。韓国の伝統布を全て手縫で制作、一部は手染めの天然染色の布を使用 |
| 花と光のフェスティバル「第27回押し花で描く<br>雅の世界&おしゃれ手づくりアート展」 | 6/12～6/17 | 6 | 1,204 | 「押し花」を額装した作品約100点を中心に、ステンドグラスの雰囲気が手軽に楽しめる「グラスアート」作品や、モザイクタイルでデザインし生活に彩を与える「タイルクラフト」作品など全部で6種類のクラフトを展示 |
| 大庭実華展　流・RyuⅢ | 6/19～6/24 | 6 | 595 | 古新聞で「時間と情報の流れ」「自然」を表現する。新聞を広げて重ね断裁し、直方体のパーツを作り、それを捻りながら床に並べた作品。「辰」は「龍・流・Ryu」。力強さを秘めながら穏やかに海洋に向かう「流」「水龍」農園からの帰り道、那珂川の水流を眺めながら思い立った展覧会 |
| Freedom2025:思惟の探求<br>（Thought-Explorations）展 | 6/26～7/1 | 6 | 668 | 韓国の現代作家32名によるグループ展。絵画、立体、陶芸など、表現技法やテーマも多様な作品が一堂に会し、現代韓国アートの奥行きと広がりを体感できるもの |
| 「2025.日韓ビジュアルデザインを語る」展 | 7/3～7/8 | 6 | 515 | 蔚山大学校デザイン学部ビジュアルデザイン学専攻卒業生と九州産業大学ビジュアルデザイン専攻卒業生の卒業後のデザイン活動を展示。ビジュアルデザインの様々な分野で活動しているデザイナーたちの活躍を鑑賞できる |
| 九州を代表するグラフィックデザイナーによる<br>思い出に残るポスター展 | 7/10～7/15 | 6 | 960 | 九州を中心に活躍されているデザイナー14組によるグラフィックデザイン作品展示会。今まで携わってきたお仕事の中から『思い出に残る作品』を選出。「面白かった」「苦労した」「あの時代だから作れた」など、作り手の心に刻まれた作品を展示 |
| Echo Emi’s Quilt　ハワイアンキルト展 | 7/17～7/22 | 6 | 931 | ハワイ・ワイアナエ図書館でトレースした貴重なハワイアンキルトのパターンで制作した伝統的・大作のハワイアンキルトタペストリーを中心に展示する。タペストリーから小物まで総数100点程、見応えのある内容展示 |
| 第40回福岡市中学校総合文化発表会<br>美術部作品展 | 7/24～7/29 | 6 | 1,582 | 福岡市内の公立中学校美術部による「旅」をテーマにした共同制作作品の企画展示。美術部生徒がテーマについて感じ、考え、生み出した作品 |
| 九州産業大学芸術学部写真・映像メディア学科<br>写真専攻百瀬ゼミナール　島展 | 7/31～8/5 | 6 | 574 | 九州産業大学写真・映像メディア学科に所属する学生が選択した島を各々の視点で捉え、島の風に吹かれながら、レンズを通して見えた風景や、ふと心が動いた瞬間を切り取った写真展 |
| 木のおもちゃであそぼう+イラストレーション | 8/7～8/12 | 6 | 1,763 | 手づくり木のおもちゃ（おしゃべりしながら触って動かして遊ぼう）、イラスト（やなせたかし編集　月刊「いちごえほん」関連他）、油絵、水彩画の展示 |
| 日韓国交正常化60年記念<br>「日韓障がい者美術交流展」 | 8/14～8/19 | 6 | 1,230 | 日韓国交正常化60年を記念し、日本・韓国障がい者制作の絵・書・写真等展示を福岡と韓国で開催。両国障がい者の活躍、努力の姿を作品を通して社会に発信する |

| 展覧会名 | 開催期間 | 日数 | 観覧者数 | 内容等 |
|---|---|---|---|---|
| 生きて、つないで　2025　in　福岡 | 8/21～8/26 | 6 | 660 | 戦争・平和・いのちについて考えるきっかけ作りの展覧会。被爆三世の家族写真「生きて、繋いで」、絵本「ひろしまのおばあちゃん」「シュモーおじさん」など展示 |
| 墨遊展 | 8/28～9/2 | 6 | 819 | 書（文字）だけでなく墨による造形「墨象」作品を発表している書道団体・現美書芸院に所属する4人による展覧会。墨による文字・造形、絵画的な表現や立体など自由な発想の作品 |
| アジア美術協会第3回定期展 | 9/4～9/9 | 6 | 498 | 現代美術を通じて、両国間の相互的理解および文化的特性を理解し、文化芸術交流の幅をさらに広げる機会とするもの。展示構成：作品は平面（絵画）と立体作品に分けて展示 |
| 福岡市民芸術祭主催事業関連イベント<br>「第九のきせき」写真展 | 9/10～9/16 | 6 | 671 | 「歓喜の歌」を写真でも体験！手話に訳し可視化された音楽を写真から感じる展覧会。「見て」「触れて」「参加する」インタラクティブでインクルーシブなアートを体感する |
| 10 pages-めくり、ひらく。 | 9/21～9/28 | 7 | 737 | ART FAIR ASIA FUKUOKA サテライト展示。AFAFが歩んできた10年の軌跡を背景に、「次の10年にどんなビジョンを描けるか」教授陣の作品と教育者としての視点を通じて示すもの |
| アジア現代美術展 | 10/2～10/7 | 6 | 456 | 「交融と再生」をテーマに掲げ時を超えて営まれてきた交流の歴史に敬意を表し新時代に生きる芸術家たちがアイデンティティ、文化、未来を思索する姿に呼応しアジア各地から優れた芸術作品が集う |
| 九州ADCアワード2025年 | 10/9～10/14 | 6 | 395 | 九州在住のクリエーターの作品　ポスター、広告、グラフィック、パッケージ等を展示 |
| 第三回西扉印会社中展 | 10/16～10/21 | 6 | 613 | 篆刻、刻字、書を展示 |
| 日本へ届ける韓国のアート<br>～小さな芸術で結ぶ文化交流～ | 10/23～10/28 | 6 | 454 | 「花」をテーマに、洋画、韓国画、文人画、書、カリグラフィー、民画、デザイン、写真、テキスタイルアート、工芸など、様々な韓国美術の豊かな表現を展示 |
| 阿波根昌鴻写真展-戦後80年<br>平和を発信する沖縄写真巡回展 | 10/30～11/4 | 6 | 818 | 阿波根昌鴻さんは非暴力による抵抗運動を展開し島に１台のカメラで住民の被害の様子やテント生活を撮影し約3200点の写真を残した。新たに制作のデジタルプリント約400点を展示 |
| 王希奇「一九四六」展 | 11/6～11/11 | 6 | 2,198 | 「一九四六」は3m×20mという巨大絵画で、旧満州での辛く厳しい冬を生きのびて、祖国への引揚船に向う日本人の姿が描かれている。 |
| CONFUSING　POWER　GRID | 11/13～11/18 | 6 | 733 | インドネシアと日本のアーティストによる交流展示。各アーティストの最新の取り組みを紹介する本格的な展示を実施 |
| 合　　計 | | 199 | 26,678 | |

# 活動記録　調査研究活動

中尾智路

【 執 筆 】
2026. 3.25　「アジア美術の現在地―対話の先にある『私たち』」『博物館概論』講談社、127-131頁
【 講 演 等 】
2025.10. 2　授業「Design in Japan C: Curatorial Studies」九州大学大学院芸術工学研究院
2025.10.17　トーク（共演：村上巨樹、河合拓始）「ミャンマー音楽の謎めいた世界へ」Artist Cafe Fukuoka
【 そ の 他 】
2025. 7　令和7年度アジア文化芸術フェローシップ（美術）審査
2025. 7　福岡県障がい者アートレンタル事業選考委員
2025.10　アジアデジタルアート大賞展審査員
2026. 1　令和8年度アジア文化芸術フェローシップ（美術）審査

五十嵐理奈

【 執 筆 】
2025　「会員寄稿：ベンガルの大地を描くこと3 ― カイユム・チョードリー」『日本バングラデシュ協会メールマガジン』140号、2025年6月号、1ページ（巻頭言）。
2025　「会員寄稿：ベンガルの絵師ポトゥアという画家―インドのジャミニ・ロイとバングラデシュのカムルル・ハサン」『日本バングラデシュ協会メールマガジン』144号、2025年10月号、1ページ（巻頭言）。
【 講 演 等 】
2025. 5.17　「1960-70年代のミャンマー現代美術―ModernとContemporaryをめぐって」『2025年度ビルマ研究会』愛媛大学
2025. 7.19　「インド大衆美術の価値化をめぐる脱美術史の試みーモスカテッリ・コレクションと黒田コレクションの比較分析を踏まえて」『環インド洋地域研究民博拠点（MINDOWS）2025年度研究会「インド近代美術の伝播と収集をめぐるグローバル・ヒストリー：イタリアにおけるインド大衆美術コレクションの調査成果とその課題」』福岡アジア美術館
2025.10.31　「バングラデシュ文化を継承する刺繍布カンタ」『2025年度慶應義塾大学東アジア研究所講座「南アジアの織物が変えた人々の暮らし―グローバルなつながりの歴史と現在」』慶應義塾大学（東京）
2026. 2.14　「ノクシカタの生まれた道」『シャプラニール=市民による海外協力の会　ベンガル地方の豊かな手しごと』ありかHole（東京）

栗原ふみ

【 執 筆 】
2025. 4　「ベトナム現代美術のいま―パブリック／プライベート／コミュニティ」、『Padograph雑誌 周縁から内在へ アジア現代美術』、Padograph
【 講 演 等 】
2025. 4.27　「ベトナムのアートをみてみよう」、春多文化月―平和を願う―「ベトナム週」、福岡多文化共育スペース（福岡）
2025. 8. 3　「「ベトナム、記憶の風景」展に向けて」、第60回アジア近代美術研究会、福岡アジア美術館
2025.10.11　福岡アジアフィルムフェスティバル「ベトナム特集」『河の女』上映前トーク、福岡アジア美術館
2025.11.23　「ベトナム、記憶の風景展について」、シンポジウム「50年と80年―ベトナムと沖縄が語る芸術と平和」（「ベトナム、記憶の風景」展沖縄会場関連催事）、沖縄県立美術館・博物館（沖縄）
2025.12.11　社会人講話「美術館で働くってどんな感じ？―学芸員のリアルなお仕事」、松崎中学校（福岡）
【 そ の 他 】
2025. 4. 7　シンポジウム「接続する人文学」〈アートを記憶する―アジアにおける芸術資料とアーカイブの可能性〉パネリスト、九州大学（福岡）
2025. 4.　座談会「周縁を生き延びるために―交錯するアジア現代美術　栗原ふみ＋陳海茵＋紺野優希　司会：神野鷹彦」、『Padograph雑誌 周縁から内在へ アジア現代美術』、Padograph

佐々木玄太郎

【 執 筆 】
2026. 3　「動向／美術」中国研究所編『中国年鑑2026』明石書店
【 そ の 他 】
2025. 4　西南学院大学 非常勤講師（博物館実習）
2025.10. 5　LOVE FM「明治産業 presents「OUR CULTURE, OUR VIEW」」出演

椋橋彩香

【 執 筆 】
2025. 9.10　「地獄寺　カラフルでキッチュな学びの場」『ワイワイタイランド』連載　279号
2025.12.10　「地獄寺　カラフルでキッチュな学びの場」『ワイワイタイランド』連載　280号
2026. 3.10　「地獄寺　カラフルでキッチュな学びの場」『ワイワイタイランド』連載　281号

黒田雷児

【 講 演 等 】
2025. 4. 7　「創造としての歴史～破片～物語へ『アジア美術資料室』ウェブサイトを使ってみる」、シンポジウム「接続する人文学」「アートを記憶する―アジアにおける芸術資料とアーカイブの可能性」、九州大学人文情報連係学府（福岡）
https://www.youtube.com/watch?v=_TFPF4KHOZU
【 そ の 他 】
2025. 5-2025.10　京都芸術大学非常勤講師

蒲池昌江

【 講 演 等 】
2025.10.11　「学校との連携プログラム～福岡アジア美術館のこれまでの取り組みと今後の展望について」、福岡アジア美術館、福岡市小学校図画工作教育研究会
【 そ の 他 】
2025. 4-2026. 3　令和7年度福岡県新進気鋭の芸術家育成事業　アドバイザー
2025. 9-2026. 1　中村学園大学教育学部美術部門 非常勤講師

山下栞

【ワークショップ】
2025. 9. 6　「造形ワークショップを一緒に作りませんか｜今年、一緒に考えて。来年、一緒に動き出そう。」、アートギャラリーミヤウチ（広島）

# 名簿

## 福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

| | |
|---|---|
| 後小路雅弘 | 北九州市立美術館館長 |
| 小勝　禮子 | 近現代美術史研究家・美術批評家 |
| 鈴木　勝雄 | 東京国立近代美術館企画課長 |

## 福岡アジア美術館レジデンス事業被招聘者協議委員

| | |
|---|---|
| 結城　円 | 九州大学芸術工学研究院未来共生デザイン部門准教授 |
| 前田　哲明 | 九州産業大学芸術学部芸術表現学科特任教授 |
| 金子　裕子 | 福岡アジア美術館学芸課長 |

## 福岡アジア美術館職員（令和8年3月31日現在）

| | |
|---|---|
| 総館長 | 小野　哲司 |
| 館長 | 岩永　悦子（福岡市美術館長と兼務） |
| 運営課長 | 鴨川　直史 |
| 運営係長 | 森　佳代 |
| 事務職員 | 碓井　孝子 |
| 事務職員 | 松藤　貴大 |
| 会計年度任用職員 | 丸江　忠志 |
| 会計年度任用職員 | 南　陽子 |
| 会計年度任用職員 | 篠﨑　奈々 |
| 会計年度任用職員 | 森本　裕子 |
| 会計年度任用職員 | 大曲　律子 |
| 学芸課長 | 金子　裕子（山木　裕子） |
| 収集展示係長 | 五十嵐理奈 |
| 学芸員 | 桒原　ふみ |
| 学芸員 | 佐々木玄太郎 |
| 交流・教育係長 | 中尾　智路 |
| 学芸員 | 椋橋　彩香 |
| 学芸員（再任用） | 黒田　雷児 |
| 会計年度任用職員 | 蒲池　昌江 |
| 会計年度任用職員 | 津森　洋子 |
| 会計年度任用職員 | 宮川　緑 |
| 会計年度任用職員 | 堺　由加子 |
| 会計年度任用職員 | 嶋津ほのか |
| 会計年度任用職員 | 藤井　泉 |
| 会計年度任用職員 | 山下　栞 |
| 会計年度任用職員 | 松本　彩花 |

発　行　2026年10月
福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
https://faam.city.fukuoka.lg.jp/
デザイン
印　刷　城島印刷株式会社
著作権　福岡アジア美術館
2026年（禁無断転載）

この紙は地球環境保護のため、
再生紙を使用しています。

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum